令和8年度(2026 年度)

入学者選抜要項

入学者選抜要項について

本要項は、令和８年度（2026 年度）入学者選抜の概要を示したものです。
各選抜の詳細については、順次発行する「学生募集要項」により確認してください。

令和7年(2025 年)7月

国立大学法人
大分大学
OITA UNIVERSITY

令和８年度（2026 年度）入学者選抜における主な変更点

【医学部】

●医学部医学科の募集人員

※現在の医学部医学科総合型選抜募集人員　25 名（一般枠 22 名、地域枠 3 名）

地域枠定員については、文部科学省等に地域枠に係る臨時定員増の申請を行う予定です。承認された場合及び承認されなかった場合の募集人員は、それぞれ下記のとおりとします。

なお、地域枠に係る臨時定員増の申請が承認されなかった場合でも、大分県における医師確保の観点から、一般選抜（前期日程）一般枠募集人員を 55 名から 45 名に、総合型選抜地域枠募集人員を 3 名から 13 名に変更することとします。

審議結果（令和７年（2025 年）10 月下旬～11 月上旬を予定）が分かり次第、本学ホームページで発表します。（※詳細は 26、35、70 ページを参照してください。）

【現在の募集人員】

		計
総合型選抜	一般枠　22 名 地域枠　 3 名	25 名
一般選抜 （前期日程）	一般枠　55 名 地元出身者枠 10 名	65 名

【地域枠に係る臨時定員増の申請が**承認された場合**の募集人員】

		計
総合型選抜	一般枠　22 名 地域枠　13 名	35 名
一般選抜 （前期日程）	一般枠　55 名 地元出身者枠 10 名	65 名

【地域枠に係る臨時定員増の申請が**承認されなかった場合**の募集人員】

		計
総合型選抜	一般枠　22 名 地域枠　13 名	35 名
一般選抜 （前期日程）	一般枠　45 名 地元出身者枠 10 名	55 名

【理工学部】

●総合型選抜において、２段階選抜を廃止します。

●帰国生徒選抜において、次のとおり試験科目（理科）の変更を行います。

【変更前】

プログラム	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム ＤＸ人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム
理科	「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 から１

【変更後：令和８年度入試以降】

プログラム	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム ＤＸ人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム
理科	「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 から１

●私費外国人留学生選抜において、次のとおり試験科目（理科）の変更を行います。

（１）日本留学試験で課す科目

【変更前】

理科	物理 化学 生物 から２科目

【変更後：令和８年度入試以降】

理科	物理及び化学の２科目

（２）本学で実施する学力試験等

【変更前】

プログラム	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム ＤＸ人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム
理科	「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 から１科目

【変更後：令和８年度入試以降】

プログラム	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム ＤＸ人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム
理科	「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 から１科目

目　　次

ページ
大分大学　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：ＡＰ）・・・・・・・・・・・・・・2
教育学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：ＡＰ）・・・・・・・・・・・・・・3
経済学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：ＡＰ）・・・・・・・・・・・・・・6
医学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：ＡＰ）・・・・・・・・・・・・・・・11
理工学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：ＡＰ）・・・・・・・・・・・・・17
福祉健康科学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：ＡＰ）・・・・・・・22
入学者選抜実施日程・・・25
募集人員・・・26
一般選抜入学者選抜方法等・・・28
① 出願資格 ・・28
② 志願学部・学科等・・28
③ 令和８年度（2026 年度）入学者選抜の実施教科・科目等及び配点 ・・・・・・30
◎大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等、その他の注意事項・・・41
学校推薦型選抜募集人員・・49
学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
（教育学部、経済学部、医学部、理工学部、福祉健康科学部）
学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
（教育学部、理工学部）
総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
（経済学部、理工学部）
総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
（教育学部、医学部、福祉健康科学部）
帰国生徒選抜・・74
社会人選抜・・・75
私費外国人留学生選抜・・77
障がいのある者等の事前相談・・79
災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮・・・・・・・・・・・・79
入試過去問題の使用について・・79
令和７年度（2025 年度）大分大学入学者選抜試験実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・80
募集要項（願書）・大学案内の請求方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83
インターネット出願について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・85

大分大学　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：ＡＰ）

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

１．学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
２．ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
３．高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

１．幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
２．論理的に考え、文章や口頭で他者に伝えることができる人
３．知識を組み合わせて活用したり、多面的な観点から物事を考えたりすることができる人
４．思いやりの心をもち、他者と協力して行動することができる人
５．地域社会や国際社会に貢献しようとする意欲をもっている人
６．知的好奇心や主体的に学ぶ意欲をもって、目的に向かって努力できる人

大分大学教育学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：ＡＰ）

基本理念

地域の学校教育の発展のため、教育に関する専門的な知識・技能を学校現場の中で創造的・総合的に活用し、新たな学びや地域の教育課題に適切に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行うことです。

教育の目標

各教科等の指導内容と指導方法についての確かな専門的知識の上に、新しい時代を担うための子どもたちの学ぶ力を育む実践的指導力を持ち、隣接する校種を見通しながら教育現場で生起する諸課題に適切に対応できる小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。

求める学生像

１．基礎学力を有し、小学校教員、特別支援学校教員、及び隣接校種である中学校教員、幼稚園教員として子どもたちの教育や支援に取り組む意欲と情熱がある人
２．学校教育に深い関心があり、大分県を中心とした地域社会への貢献ができる人
３．物事を多面的に分析し、自ら課題を見つけ、他者と協働して課題解決ができる人
４．子どもや他者とのコミュニケーションが積極的にでき、相互理解を深めようとする人

入学者選抜の基本方針

教育学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜及び総合型選抜を実施し、「求める学生像」にそって学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別検査を課しています。大学入学共通テストは６～７教科８科目とし、個別検査では教科・科目に係る個別テストとグループディスカッションを課しています。

・一般選抜（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別検査を課しています。大学入学共通テストは６～７教科８科目とし、個別検査では小論文とグループディスカッションを課しています。

・学校推薦型選抜（初等中等教育コース）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及びグループディスカッションを課しています。大学入学共通テストは６～７教科８科目とし、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

・学校推薦型選抜（特別支援教育コース）

特別支援教育の担い手に必要な資質・能力をみるため、小論文、個人面接及びグループディスカッションを課しています（大学入学共通テストは課していません）。小論文、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

・総合型選抜

総合的な学力及び教科の能力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及び教科〈音楽、美術、保健体育、技術、家庭〉の試験を課しています。大学入学共通テストは所定の５つの区分から任意の３つを選択し、個人面接及び教科の試験では提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分		検査項目	学力の３要素			求める学生像	
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	教育や支援に取り組む意欲と情熱	学校教育への深い関心
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		教科・科目に係る個別テスト	○	○			
		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ（調査書）		○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		小論文		○			○
		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ（調査書）		○	○	○	○
学校推薦型選抜（初等中等教育コース）		大学入学共通テスト	○	○			
		個人面接 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ （調査書） （志望理由書） （推薦書）		○	○	○	○
学校推薦型選抜（特別支援教育コース）		小論文	○	○			
		個人面接 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ （調査書） （志望理由書） （推薦書）	○	○	○	○	○
総合型選抜		大学入学共通テスト	○	○			
		教科の試験	○	○		○	
		個人面接 （調査書） （自己推薦書） （活動報告書）		○	○	○	○

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。このような点から、一般選抜及び学校推薦型選抜（初等中等教育コース）において課している大学入学共通テストの教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、修得するとともに、応用的な力を養っておくことが必要です。総合型選抜においては、これらの教科・科目の試験すべてを課しているわけではありませんが、そこで受験しなかった教科・科目も大学入学までに十分に理解し、修得していることが望まれます。学校推薦型選抜（特別支援教育コース）においては、高等学校等において学習する教科・科目の試験を課していませんが、これらの教科・科目を大学入学までに十分理解し、修得していることが望まれます。

また、教科・科目の知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力等の学力や、「求める学生像」に示した資質を高めておくことが望まれます。

国　　語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。
なお、修得しておくべき科目は現代の国語、言語文化の他、国語の論理性や文学性、表現性に関する科目、古典に関する科目です。

地理歴史、公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数　　学：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。
なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。

理　　科：理科の各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、科学的に思考する能力を身につける必要があります。また、科学的な法則を単に知識として暗記するのではなく、どのような過程で導き出されたか探究的に学ぼうとする姿勢が大切です。
なお、修得しておくべき科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の中から３科目以上です。

外国語（英 語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。
なお、修得しておくべき科目は英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情　　報：情報と情報技術に関する基礎的な知識や技能、活用方法を身につけていることが必要です。また、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を修得するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を持っていることが求められます。

大分大学経済学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：ＡＰ）

教育理念・目標

１．本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野を広く、かつ基礎から応用・実践に至るまで体系的に学修することを通じて、サステナブルな経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

２.こうした人たちが､高度化･複雑化するとともに持続的な発展が求められる社会に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには､社会科学諸分野の総合的な学修を通じた基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的な能力が重要です。そこで、学生の総合的基礎力を高めることを本学部の教育目的とします。

３．この目的を達成するために経済学、経営学を中心とした体系的なカリキュラムを編成するとともに、課題探究、双方向教育技法に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を有する人材を養成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

１．経済学、経営学を中心とした社会科学への関心や基礎学力を有する人

２．自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ人

３．現在の自分について自己表現ができるとともに、多様な考えを理解し、他者と協働しながら課題解決に向けて努力ができる人

４．責任感と倫理観を備え、国際化・情報化のなかで、地域・国際社会の持続的発展に貢献しようとする意欲をもつ人

５．知的好奇心を持ち続けることができ、バイタリティーあふれる人

卒業後の進路

・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）

・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事などをめざす人）

・公務に携わることをめざす人（たとえば、国税専門官、労働基準監督官、裁判所・法務局・労働局・厚生局・税関職員などの仕事をめざす人）

・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）

・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員、シンクタンク研究員、また大学院進学をめざす人）

・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば外国企業で働くこと、企業・公務・ボランティアで海外勤務すること、また地域社会・企業でインバウンドなど国際交流に携わって働くことをめざす人）

・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場・警察やマスコミ、病院、福祉施設、ボランティア組織などで働くことをめざす人）

・事業創造（起業）に携わることをめざす人（たとえば、ベンチャービジネス、地場産品を扱う６次産業、NPO・NGO などを立ち上げたり、起業を支援する公務・事業コンサルタントなどで働くことをめざす人）

各コースの求める学生像

【経済分析・政策コース】

・公的な政策に対して有権者や企業などがどう反応するかという問題に関心のある学生

・公的部門や金融機関などで政策立案に携わりたい学生

【IBP（International Business Perspectives）コース】

・国際交流に興味があり、国際業務での活躍を志望する学生

・地球規模の課題を身近な課題として考え、世界の多様性に関心がある学生

【会計コース】

・企業経営に関心があり、財務諸表の作成・分析をしたい学生

・簿記・会計的な視点から、企業経営上の課題を見つけ出し、多様な分野の学修を通じて、課題解決に向けて取り組む意欲のある学生

【社会イノベーションコース】

・身近な課題を社会的なものとしてとらえ直すことに関心がある学生

・そうした課題に対して、多様な形での関わり方を柔軟に提案したい学生

【生活・仕事創造コース】

・持続可能性に課題のある地域について、人、自然、文化、産業、歴史などの地域資源をつないで活用することに関心がある学生

・そうした地域に入り、生活環境に密着した問題を発見し、解決を提案したい学生

【地域経営・法コース】

・地域の活性化や地域住民の安定的な暮らしの保障に関心をもち、地域経営と法律の双方の学修を志す学生

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）、総合型選抜、社会人選抜などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れます。

・一般選抜（前期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは６～７教科８科目とし、教科・科目に係る個別テストでは数学と英語から１教科を課します。特色加点では、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・一般選抜（後期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは５～６教科６科目とし、個別検査では小論文を課しています。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力を評価します。

・総合型選抜

［英語資格・簿記資格に基づく選抜制度］

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は２段階選抜で、第１次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第２次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。英語資格の個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力を評価します。簿記資格の個人面接では、提出書類も参考にして、資格取得を通して身につけた能力を大学の学びにどのように結びつけたいかなどの積極性・学習意欲・自己表現能力を評価します。

［課題探究型学習に基づく選抜制度］

高等学校等での学習課程の中で課題探究に取り組みながらその成果を残し、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は２段階選抜で、第１次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第２次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。個人面接では、提出書類も参考にして、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力および主体的に学習に取り組む態度を評価します。

・帰国生徒選抜

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・社会人選抜

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から１教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・第３年次編入学試験

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分		入試科目	学力の３要素（確かな学力）			求める学生像	
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	経済社会への関心や基礎学力を有する	自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		教科・科目に係る個別テスト	○	○		○	
		特色加点			☆		☆
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		小論文	○	○	○	○	○
学校推薦型選抜		小論文	○	○		○	
		面接（グループ・ディスカッション）	○	○	◎	○	○
		調査書	○		○	○	
		志望理由書		○	○	○	○
		推薦書	○		○	○	○
総合型選抜		小論文	○	○		○	
		面接	◎	○	◎	○	◎
		調査書	○		○	○	
		志望理由書		○	○	○	○
その他	帰国生徒選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	社会人選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	私費外国人留学生選抜	教科の試験	◎			○	
		小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	◎
		調査書	○		○	○	
	第3年次編入学試験	教科の試験	◎				
		小論文	○	○		○	
		調査書	○		○	○	

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

経済学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国　　語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

地理歴史、公民：基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

数　　学：基本的概念や原理・法則を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

理　　科：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。

情　　報：情報を科学的に理解することに加え、情報の主体的な活用への関心が必要です。

大分大学医学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：ＡＰ）

基本理念

医、看護及び先進的医療に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学、看護学及び医療科学の知識並びに技術と技能、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、医療従事者等、更には医学、看護学研究者、大学・企業研究者等を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

〈医学科〉

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

〈看護学科〉

人々が心身共に健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の修得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができる、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

〈先進医療科学科〉

領域・業種の垣根を超えた情報交換と交流の橋渡しができる能力を有し、大学・企業研究者、医療従事者、起業家、医療事業経営マネジメントを行える人材となり、進化した医工連携、深化した医学生命科学連携の将来の担い手として活躍できる人材を養成します。

求める学生像

〈医学科〉

1　医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人

2　患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた温かい心を正しく体得しようとする志を持っている人

3　日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を修得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人

4　他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

（一般選抜地元出身者枠、総合型選抜地域枠）

5　大分県の地域医療に貢献したいという強い意志と、地域医療に対する適応力を持っている人

〈看護学科〉

1　看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人

2　日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の修得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人

3　国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人

4　何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

〈先進医療科学科〉

1　医療に携わる様々な領域で研究者、科学者、起業家などとして地域社会の発展と人類の健康・福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人

2　好奇心旺盛で、様々な分野に興味があり、多様性のある活動ができる人

3　他者に対する思いやりに満ちた温かい心を正しく体得しようとする志を持っている人

4　日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を修得するため、自らたゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる自主性、持続力と忍耐力を持っている人

5　他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を持っている人

入学者選抜の基本方針

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では一般選抜と総合型選抜を、看護学科では一般選抜と学校推薦型選抜を、先進医療科学科では一般選抜を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、医学科では医学以外の大学在学者・卒業者を対象に第２年次編入学試験を、看護学科では社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業者等を対象とした第３年次編入学試験を実施しています。

各選抜試験で重視する観点〈医学科〉

入試区分		検査項目	学力の３要素			求める学生像				
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	医師になる確固たる決意を有する	思いやりに満ちた温かい心を有する	努力する持続力と忍耐力を有する	協調性・社会性を有する	大分県の地域医療に貢献する強い意志と地域医療への適応力を有する
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○						
		教科・科目に係る個別テスト	○	○						
		個人面接		○	○	○	○	○		○ (地元出身者枠)
総合型選抜		大学入学共通テスト	○	○						
		個人面接		○	○	○	○	○		○ (地域枠)
		グループディスカッション		○	○				○	○ (地域枠)

各選抜試験で重視する観点〈看護学科〉

入試区分		検査項目	学力の３要素			求める学生像			
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	強い意志と温かい心を有する	努力と自己研鑽を重ねる	問題意識を持ち教養を備えている	社会性を有する
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○					
		小論文	○	○					
		個人面接		○	○	○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○					
		個人面接		○	○	○	○	○	○
学校推薦型選抜		小論文	○	○					
		個人面接		○	○	○	○	○	○
		グループディスカッション		○	○			○	○

各選抜試験で重視する観点〈先進医療科学科〉

入試区分		検査項目	学力の３要素			求める学生像			
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	地域発展・人類福祉への貢献の意思を有する	思いやりに満ちた温かい心を有する	努力する持続力と忍耐力を有する	協調性・社会性を有する
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○					
		教科・科目に係る個別テスト	○	○					
		個人面接		○	○	○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○					
		小論文	○	○					
		個人面接		○	○	○	○	○	○

・一般選抜

≪医学科前期日程≫

一般選抜では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入学共通テストは６教科８科目を課しています。前期日程において、教科・科目に係る個別テストでは理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から２科目選択）、数学、英語の３教科の学力を測るとともに、面接ではコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等、受験者の素養を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

≪看護学科前期日程・後期日程≫

一般選抜では、高等学校での教科面における学習の達成度を評価するため、大学入学共通テストについては６教科７科目を課します。また、前期日程では、小論文と面接を、後期日程では面接を課します。小論文では、論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。その際、高等学校等の調査書及び志願調書を参考資料とします。

≪先進医療科学科前期日程・後期日程≫

一般選抜では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入学共通テストについては６教科８科目を課します。また、前期日程において、教科・科目に係る個別テストでは「数学」、「理科」（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から１科目選択）、「英語」により、医学・医療を学ぶための基礎学力に加え、自然科学や多様な情報に対する深い思考力、判断力、表現力を評価するとともに、「面接」では課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。後期日程において、「小論文」では医学・医療に関する深い思考力、判断力、表現力を評価するとともに、「面接」では課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

・総合型選抜

≪医学科≫

総合型選抜は、自己推薦による入試であり、本学部アドミッション・ポリシーに掲げた求める学生像について、学力のみで選抜するものとは異なり、丁寧な面接により適性等を評価し選抜します。一般選抜と同じく大学入学共通テストは、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、６教科８科目を課しています。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、医学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価します。また、自己推薦書、調査書及び特別活動に関する調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかを、課外活動やボランティア活動、資格等を中心に評価します。

・学校推薦型選抜

≪看護学科≫

学校推薦型選抜では、大学入学共通テストを免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。その際、調査書、推薦書及び自己推薦書を参考資料とします。

・社会人選抜

≪看護学科≫

社会人選抜では、社会人としての経験を看護の分野に生かしてゆくことのできる有能な人材を受け入れるため、大学入学共通テストを免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。

・第２年次編入学試験

≪医学科≫

第２年次編入学試験では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような３段階による選抜方法を実施しています。第１次選抜では小論文を含む書類審査を、第２次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第３次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れたグループディスカッションを行います。

・第３年次編入学試験

≪看護学科≫

短期大学の看護系学科及び看護系専修学校の卒業者等に、看護に対する専門能力及び指導能力をより高める機会を提供することを目的として、３年次への編入学を実施し、英語と総合問題と面接を課しています。総合問題では、専門基礎科目並びに専門科目に関する基礎知識・問題解決能力・統合能力を測り、面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

医学・医療を学ぶには、十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性、倫理性、社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は、高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識、技能、思考力、体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については、入学までに確実に修得することが必要です。

・一般選抜、学校推薦型選抜

〈医学科前期日程〉

国　　語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

数　　学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ａ、数学Ｂ、数学Ｃの知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理　　科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

情　　報：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。

保　健　体　育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

〈看護学科前期日程・後期日程・学校推薦型選抜〉

国　　語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：社会科学的な基礎知識と思考力を身につけていることが必要です。

数　　学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの基礎的知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理　　科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、会話力を身につけていることが必要です。

情　　報：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。

保　健　体　育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

〈先進医療科学科前期日程・後期日程〉

国　　語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

数　　学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cの知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理　　科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

情　　報：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。

保　健　体　育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

・総合型選抜

〈医学科〉

国　　語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

数　　学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cの知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理　　科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

情　　報：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。

保　健　体　育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

大分大学理工学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：ＡＰ）

基本理念

質の高い特色ある研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献すると共に、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を養成することです。

教育の目標

自ら課題を探求する高い学習意欲と柔軟な思考力、国際基準を満たす専門知識を備え、総合的な視点から分野を超えて連携できる、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成します。

求める学生像

・理学及び工学分野の基礎をなす数学や理科等の基礎学力を備え、理学及び工学分野に加えより広範囲な事象に対して知的好奇心をもっている人
・基礎的な表現力・コミュニケーション力を備え、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく意志と姿勢をもっている人
・社会における責任感と倫理観を備え、人類の福祉や地域社会のために理学・工学の視点から課題解決に貢献したいという意志をもっている人
・自らの考えで行動する主体性を備え、社会の変化に対応する柔軟性に資する知識・技能を学修する意志をもっている人

加えて、主に基礎学力を重視する一般選抜では、各プログラムカリキュラムを修得するのに必要となる高校段階の理科分野のうち、プログラムの指定する科目について十分に習熟している人を求めています。

また、志願分野への志望や興味を重視する総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）では、プログラムごとに次のような人を求めています。

＜数理科学プログラム＞
・数学に興味があり、科学技術を発展させるための様々な課題に対して、数学の立場からその解決方法を見出し、それに取り組む過程に魅力を感じる人

＜知能情報システムプログラム＞
・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

＜ＤＸ人材育成基盤プログラム＞
・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、新しい付加価値の創造を主導でき、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

＜物理学連携プログラム＞
・物理学に関連する分野で地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

＜電気エネルギー・電子工学プログラム＞
・現代社会を支える電気電子工学分野に関心があり、この分野を主体的に学んで社会で活躍したいという意欲のある人

＜機械工学プログラム＞
・ものづくりに興味があり、そのために必要な機械工学に関する専門知識を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人
＜知能機械システムプログラム＞
・メカトロニクスシステム（機械／電気系）と生体系、及びそれらの複合系に関する専門知識を身につけ多様化する社会の発展に貢献したいという意志をもっている人
＜生命・物質化学プログラム＞
・科学、工学の分野に関心があり、特に化学に関する幅広い専門知識・技術を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人
＜地域環境科学プログラム＞
・環境・自然科学・土木に関連する分野で、時々刻々と変化する地域的・社会的課題を的確にとらえ、安全・安心で持続可能な地域環境を実現するための取り組みを通じ、地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人
＜建築学プログラム＞
・自然科学や工学のみならず社会科学、環境科学並びに芸術の分野に関心があり、高度化・多様化・国際化している建築の知識や技術の修得をもって、安全・安心かつ持続可能な社会実現や魅力ある環境・空間の創生に貢献したいという意志をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）のほか、学校推薦型選抜（一般推薦、サイエンス推薦）、総合型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）などを実施し、アドミッション・ポリシーにそってより多くの観点から受験者の学力や資質を評価し、学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（６教科８科目）、教科・科目に係る個別テスト（数学・理科）及び特色加点により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。教科・科目に係る個別テストでは、問題を解決するために適切な知識や技能を選択し、活用する能力、自らの考えを適切に表現する能力を評価します。特色加点では、理学及び工学に関する関心・意欲、協調性・積極性・主体性などを評価します。

・一般選抜（後期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（６教科８科目）及び面接により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。面接は、集団面接又は個人面接で行い、理工学分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価します。また、数学と理科に関する学力及び科学的思考能力を評価する試問を含むことがあります。なお、後期日程では数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムへの仮配属はありません。

・学校推薦型選抜Ｉ（一般推薦）（女子枠）

知能情報システムプログラム、ＤＸ人材育成基盤プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム及び生命・物質化学プログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テストを免除し、調査書、推薦書、基礎能力試験及び面接により総合的に評価し、選抜します。志望理由書は参考資料として用います。基礎能力試験では、基礎学力を含む科学的思考力、論理的思考力及び課題解決能力を評価します。面接は集団面接で行い、基礎学力に関する試問も含み、志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅰ（サイエンス推薦）

知能情報システムプログラム、ＤＸ人材育成基盤プログラム及び知能機械システムプログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び実績を評価するため、高等学校等において、科学に関する特別活動（例：SSH プログラム、科学クラブ等）に取り組んだ経験のある者を対象として、大学入学共通テストを免除し、調査書、推薦書、プレゼンテーション及び面接により総合的に評価し、選抜します。また、科学に関する特別活動の実績を示す資料も提出してもらい、志望理由書とともに参考資料として用います。プレゼンテーションでは、科学に関する特別活動の内容に関する発表と質疑応答を行います。面接は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学に関する特別活動の実績を示す資料及び志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ（一般推薦）（女子枠）

建築学プログラムにおいて、幅広い分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト（６教科８科目）、調査書、小論文及び面接により総合的に評価し、選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の活用力を評価します。小論文では課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・総合型選抜

知能情報システムプログラム、ＤＸ人材育成基盤プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び工業分野の学びの実績を評価するため、高等学校等の機械、電気、電子、情報、計算機、建築、土木、環境に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者を対象として、大学入学共通テストを免除し、調査書、自己推薦書、活動報告書及び面接により総合的に評価し、選抜します。面接は集団面接又は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。なお、知能情報システムプログラム、ＤＸ人材育成基盤プログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を課します。

・帰国生徒選抜

日本国籍又は日本の永住許可を有する方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、日本語能力、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・第３年次編入学試験

理工学に関連する高等教育機関での多様な学修実績を活かし本学部でさらなる学修を志望する方を対象に、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、簡単な筆記試験及び口頭試問により、基礎学力や専門分野の学力を評価するとともに、専門分野への意欲、積極性、論理的思考力、自己表現力についても評価します。

各選抜試験で重視する観点

入試区分			学力の３要素			求める資質・能力			
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働力	数学・理科の基礎学力	知的好奇心・志望分野の課題への興味・意欲・関心・ねばり強さ	自立的に考え、かつ他者と協同して取り組む姿勢	リーダーシップと行動力を発揮する意志
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○			
		教科・科目に係る個別テスト（数・理）	○	◎		◎			
		特色加点			☆		☆	☆	☆
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○			
		面接（口頭試問を含む）	○	◎	○	○	◎	○	○
学校推薦型選抜Ⅰ	女子枠一般推薦	基礎能力試験	◎	○		○			
		面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○
		調査書・推薦書	○				○	○	○
	サイエンス推薦	プレゼンテーション		◎		○		◎	
		面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○
		調査書・推薦書	○				○	○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	女子枠一般推薦	大学入学共通テスト	◎	○		○			
		小論文	○	◎			○		
		面接	○	◎	○		◎	○	○
		調査書	○				○	○	○
総合型選抜		面接（筆記試験・小論文・口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○
		自己推薦書		○			○		
		活動報告書		○	○	○	○	◎	○
		調査書	○				○	○	○
その他	帰国生徒選抜	学力検査	◎	○		◎			
		面接	○	◎	○	○	○	○	○
		提出書類	○	○		○	○	○	○
	私費外国人留学生選抜	学力検査	◎	○		◎			
		面接	○	◎	○	○	○	○	○
		提出書類	○	○		○	○	○	○
	第３年次編入学試験	面接（筆記試験・口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○
		提出書類	○	○	○	○	○	○	○

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

理工学部の教育においては、高等学校において学習する以下の教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や選抜区分等の違いもあるため、理解のレベルは個人によってそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については、入学までに身につけるよう期待します。

国　　語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。修得しておくべき科目は、現代の国語、言語文化の他、国語の論理性や文学性、表現性に関する科目、古典に関する科目です。

地理歴史、公民：地理歴史、公民の各科目の学習を通じて、基礎的な知識を修得するとともに、地理・歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけるとともに、政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心をもつことが必要です。

数　　学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ａ、数学Ｂ、数学Ｃについて、基礎的な計算技能を修得するとともに、基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

理　　科：物理、化学、生物に関する基礎的な概念を理解するとともに、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。電気エネルギー・電子工学プログラム、物理学連携プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラム志望者は、物理基礎及び物理の修得に加え、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から１科目の修得が望まれます。数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、ＤＸ人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラム志望者は物理基礎及び物理、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から２科目以上の修得が望まれます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力をもつことが必要です。修得しておくべき科目は、英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情　　報：情報科学・情報技術に関する基礎的な理解力を身につけ、科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う意欲を持ち、情報社会に主体的に参画するための資質・能力が必要です。

大分大学福祉健康科学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

福祉と医療、心理を融合した新しい教育研究を通じ、リハビリテーション学、社会福祉学、心理学の学問領域に立ち、それぞれの学問領域における高度な専門的知識と技能のみならず他領域における知識等を体系的に修得することを通じて、「地域包括ケア」のリーダーとして活躍できる人材養成を行うことによって、より成熟した福祉社会の実現に寄与することです。

教育の目標

資格取得をめざすのみではなく、「高度な専門性」と「社会人としての教養と態度」を備えた医療・福祉・心理の各分野における「実践専門職」として社会に貢献するとともに、包括的な支援を高度にマネジメントできるリーダーとして「地域包括ケア」の実現に寄与する人材を養成します。

求める学生像

本学部において、以下の人材を求めます。

・大学において、教養と専門的知識を修得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人
・福祉社会の実現に関心を持ち、自ら考え、実践・努力する人
・様々な活動に主体的に取り組めるとともに、思いやりの心を持って行動できる人
・地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持つ人
・知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人

〈理学療法コース〉
・リハビリテーションの専門知識や技能を生かして社会に貢献したいという意思を持つ人

〈社会福祉実践コース〉
・福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意思を持つ人

〈心理学コース〉
・心理学の専門知識や技能を生かして社会で活躍し、貢献したいという意思を持つ人

入学者選抜の基本方針

本学部では、求める学生像のみならず、高等学校及び大学において育成すべき「生きる力」「確かな学力」の本質を踏まえつつ、アドミッション・ポリシーに基づき、受験者の多様な能力を多元的に評価する個別選抜を確立するために、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜（社会福祉実践コース）、総合型選抜（理学療法コース・心理学コース）を実施し、高等学校等で培われた学びの意欲や活動を多面的・総合的に評価し、選考します。

・一般選抜（前期日程、後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別検査を課します。大学入学共通テストは６～７教科８科目とし、個別検査では、各コースの専門に応じたテーマを設定した小論文及び面接を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などを評価します。

・学校推薦型選抜

「社会福祉実践コース」のみ学校推薦型選抜を行います。特に、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜においては、アドミッション・ポリシーに基づき多様な能力を多元的に評価する選抜として、小論文では総合問題等を導入し、論理的思考力、表現力を測り、面接ではコミュニケーション力やリーダーシップを測ることにより丁寧な選抜を行います。

・総合型選抜

「理学療法コース」及び「心理学コース」において総合型選抜を行います。総合型選抜では、大学入学共通テストは６～７教科８科目とし、コースの学修に必要な知識・技能を評価するとともに、小論文では論理的思考力、表現力を評価し、個別面接（理学療法コース及び心理学コース）やグループディスカッション（心理学コース）では主体性、協働力、意欲、積極性、コミュニケーション力やリーダーシップを評価します。

各選抜方法で重視する観点

入試区分及び入試科目			学力の３要素			本学部が求める力		
			知識技能	思考力判断力表現力	主体性協働力	地域や現代社会への関心	意欲積極性	コミュニケーション力・リーダーシップ
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
学校推薦型選抜		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
総合型選抜		大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		個別面接		○	◎	○	◎	◎
		グループディスカッション		○	◎	○	◎	◎

◎は、特に重視する

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。学校推薦型選抜においては、これら教科・科目の試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、修得していることが望まれます。

国　　語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。
なお、修得しておくべき科目は現代の国語、言語文化です。

地理歴史・公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数　　学：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。
なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａ、数学Ｂです。

理　　科：基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも必要です。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。
なお、修得しておくべき科目は英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情　　報：情報社会における個人の役割や責任を理解するとともに、さまざまな事象を情報との結びつきから捉え、情報技術を活用しながら、問題の発見・解決に取り組むための基礎的な能力を修得する必要があります。
なお、修得しておくべき科目は情報Ⅰです。

入学者選抜実施日程

<table>
<tr><th colspan="2">入試区分</th><th>学　部</th><th>募集要項
公表時期</th><th>出願期間</th><th>試験日</th><th>合格者発表</th></tr>
<tr><td rowspan="3">一般選抜</td><td rowspan="2">前期日程</td><td>教育学部
経済学部
理工学部
福祉健康科学部</td><td rowspan="3">12月上旬</td><td rowspan="3">令和８年（2026年）
１月26日（月）
～
２月４日（水）</td><td>令和８年（2026年）
２月25日（水）</td><td rowspan="2">令和８年（2026年）
３月６日（金）</td></tr>
<tr><td>医学部</td><td>令和８年（2026年）
２月25日（水）
２月26日（木）</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>教育学部
経済学部
医学部
理工学部
福祉健康科学部</td><td>令和８年（2026年）
３月12日（木）</td><td>令和８年（2026年）
３月20日（金）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">学校推薦型選抜Ⅰ</td><td rowspan="2">教育学部
経済学部
医学部看護学科
理工学部
福祉健康科学部</td><td rowspan="3">９月下旬</td><td rowspan="3">令和７年（2025年）
11月４日（火）
～
11月７日（金）</td><td rowspan="3">令和７年（2025年）
11月19日（水）</td><td>令和７年（2025年）
12月１日（月）</td></tr>
<tr><td>令和８年（2026年）
２月10日（火）</td></tr>
<tr><td colspan="2">学校推薦型選抜Ⅱ</td><td>教育学部
理工学部</td><td>令和８年（2026年）
２月10日（火）</td></tr>
<tr><td colspan="2">総合型選抜Ⅰ</td><td>経済学部
理工学部</td><td rowspan="2">７月上旬</td><td>令和７年（2025年）
９月１日（月）
～
９月５日（金）</td><td>令和７年（2025年）
９月24日（水）</td><td>令和７年（2025年）
11月４日（火）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">総合型選抜Ⅱ</td><td>教育学部</td><td rowspan="2">令和７年（2025年）
11月４日（火）
～
11月７日（金）</td><td>令和７年（2025年）
11月22日（土）</td><td rowspan="3">令和８年（2026年）
２月10日（火）</td></tr>
<tr><td>医学部医学科</td><td>６月中旬</td><td>令和８年（2026年）
２月８日（日）</td></tr>
<tr><td>福祉健康科学部</td><td>７月上旬</td><td>令和７年（2025年）
10月６日（月）
～
10月10日（金）</td><td>令和７年（2025年）
11月19日（水）</td></tr>
<tr><td colspan="2">帰国生徒選抜</td><td rowspan="2">経済学部
理工学部</td><td rowspan="3">12月上旬</td><td rowspan="3">令和８年（2026年）
１月５日（月）
～
１月９日（金）</td><td rowspan="3">令和８年（2026年）
１月28日（水）</td><td rowspan="3">令和８年（2026年）
２月17日（火）</td></tr>
<tr><td colspan="2">私費外国人
留学生選抜</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">社会人選抜</td><td>経済学部</td></tr>
<tr><td>医学部看護学科</td><td>６月下旬</td><td>令和７年（2025年）
７月７日（月）
～
７月11日（金）</td><td>令和７年（2025年）
８月19日（火）</td><td>令和７年（2025年）
９月８日（月）</td></tr>
</table>

募集人員

学部	課程・学科・コース等		入学定員	募集人員					
				一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜	
				前期日程	後期日程	学校推薦型選抜 Ⅰ	学校推薦型選抜 Ⅱ	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育コース	140	72	23		35		10
		特別支援教育コース	10	3	2	5			
	計		150	75	25	5	35	0	10
経済学部	総合経済学科		270	120	65	普通推薦 45 商業推薦 10		英語資格 5 簿記資格 15 課題探究 10	
	計		270	120	65	55	0	30	0
医学部	医学科		90	一般枠 55 地元出身者枠10					一般枠 22 地域枠3【注5】
	看護学科		60	35	10	15			
	先進医療科学科	生命健康科学コース	20	15	5				
		臨床医工学コース	15	11	4				
	計		185	126	19	15	0	0	25
理工学部	理工学科	数理科学プログラム	395	257	53 【注 6】				
		知能情報システムプログラム				一般推薦 5 女子枠 2 サイエンス推薦 2 9		5	
		DX 人材育成基盤プログラム				一般推薦 4 女子枠 1 サイエンス推薦 1 6		7	
		物理学連携プログラム							
		電気エネルギー・電子工学プログラム				一般推薦 9 女子枠 2 11		2	
		機械工学プログラム				一般推薦 8 女子枠 2 10		5	
		知能機械システムプログラム				一般推薦 4 女子枠 1 サイエンス推薦 1 6		1	
		生命・物質化学プログラム				一般推薦 8 女子枠 4 12			
		地域環境科学プログラム						2	
		建築学プログラム					一般推薦 3 女子枠 2 5	4	
	計		395	257	53	一般推薦 38 女子枠 12 サイエンス推薦 4 54	一般推薦 3 女子枠 2 5	26	0
福祉健康科学部	福祉健康科学科	理学療法コース	30	22	3				5
		社会福祉実践コース	35	19	4	普通推薦 11 福祉推薦 1 12			
		心理学コース	35	27					8
	計		100	68	7	12	0	0	13
合　計			1100	646	169	181		104	

【注 1】 「学校推薦型選抜Ⅰ」及び「総合型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないもの、「学校推薦型選抜Ⅱ」及び「総合型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものを表します。

【注 2】 各学部の学校推薦型選抜、総合型選抜の入学者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜で補充することがあります。

【注 3】 経済学部一般選抜後期日程の募集人員には帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜の募集人員（若干名）を含みます。そのため、これらの入試で合格者が出た場合は、その人数を考慮して、後期日程の合格者を決めることがあります。

医学部看護学科一般選抜後期日程の募集人員には社会人選抜の募集人員（若干名）を含みます。そのため、この入試で合格者が出た場合は、その人数を考慮して、後期日程の合格者数を決めることがあります。

理工学部一般選抜前期日程と後期日程の募集人員には帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜の募集人員（若干名）を含みます。そのため、これらの入試で合格者が出た場合は、その人数を考慮して、前期日程、後期日程の合格者数を決めることがあります。

【注 4】 医学部医学科一般選抜前期日程において、一般枠、地元出身者枠のどちらか一方の合格者が募集人員を満たした以降は、募集人員に満たない枠について、当該枠の専願者及び併願者を総合得点の高い順から合格者とします。ただし、当該枠の専願者及び併願者の成績が著しく低い場合は合格者とはせず、当該枠の募集人員に達するまで、募集人員を満たした枠より総合得点の高い順から合格者とします。

【注 5】 令和８年度（2026 年度）募集人員の医学部医学科地域枠定員は現在３名です。今後、文部科学省等に臨時定員増の申請を行う予定であり、審議の結果、承認された場合及び承認されなかった場合は、本要項ｉページ掲載の募集人員となります。審議結果（令和７年（2025 年）10 月下旬～11 月上旬を予定）が分かり次第、本学ホームページで発表します。

【注 6】 数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムでは後期日程のプログラム仮配属はありません。

【注 7】 理工学部理工学科の学校推薦型選抜における女子枠は、一般推薦に併願することも可能です。

一般選抜入学者選抜方法等

①　出願資格

1　令和８年度**「大学入学共通テスト」で本学が指定する教科・科目を受験した者**で、次のいずれかに該当する者です。

（１）高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者及び令和８年（2026年）３月卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和８年（2026年）３月修了見込みの者

（３）学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和８年（2026年）３月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第７号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。

<参考>学校教育法施行規則第150条第７号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

申 出 先　〒870-1192　大分市大字旦野原700番地 大分大学学生支援部入試課　TEL097-554-7471

【注１】学校教育法第90条第２項による高校２年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注２】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

2　医学部医学科地元出身者枠の志願者は、上記出願資格に加え、次の要件を満たす者です。

（１）大分県内の小学校、中学校又は高等学校を卒業し、大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者（令和８年（2026年）３月に大分県内の高等学校卒業見込みの者を含む。）

（２）卒業後、初期研修２年間を含む３年間を大分大学医学部附属病院あるいは大分大学が指定する医療機関等で臨床研修に従事することを確約できる者

※地元出身者枠として出願資格を満たす者は、一般枠と併願することができ、第１志望、第２志望を選択します。

②　志願学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般選抜（教科・科目に係る個別テスト等）について、前期日程から１つ、後期日程から１つ、公立大学中期日程から１つの合計３つの国公立大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組合せに制限はありません。

※公立大学協会ホームページ（https://www.kodaikyo.org/?cat=26）を参照

（１）教育学部

志願できるコースは、前期日程及び後期日程とも１つのみです。

（２）医学部

志願できる学科・コースは、前期日程及び後期日程とも１つのみです。（ただし、医学科は後期日程は実施しません。）

（３）理工学部

（ア）志願できるプログラムは、前期日程で第10志望まで、後期日程で第７志望までです。また、全ての志望順位の記入は必須ではありませんが、記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんの

で、配属を希望するプログラムは全て記入しておいてください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。

（イ）前期日程において、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第１志望とする場合は、教科・科目に係る個別テストの「物理」を選択していることが必要です。教科・科目に係る個別テストの「物理」を選択していない志願者が物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第１志望プログラムとした場合は、第２志望プログラム以下の数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、ＤＸ人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムのうち、最上位の志望プログラムが第１志望プログラムとして判定されます。

（ウ）前期日程及び後期日程とも、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストの「物理」を選択していることが必要です。大学入学共通テストの「物理」を選択していない志願者がこれらのプログラムを志望プログラムに記入した場合は、これらのプログラムの配属対象とはなりません。

（４）福祉健康科学部

志願できるコースは、前期日程及び後期日程とも１つのみです。（ただし、心理学コースは後期日程は実施しません。）

③　令和８年度（2026 年度）入学者選抜の実施教科・科目等及び配点

教科・科目名の表記方法について

（１）大学入学共通テストの科目及び教科名は、次のように略しています。

教科名	教科略称	科目名	科目略称
国語	国	国語	国
地理歴史 ※１	地歴	地理総合、地理探究 歴史総合、日本史探究 歴史総合、世界史探究 地理総合／歴史総合／公共	地総・地探 歴総・日探 歴総・世探 地総／歴総／公
公民 ※１	公民	公共、倫理 公共、政治・経済 地理総合／歴史総合／公共（再掲）	公・倫 公・政経 地総／歴総／公（再掲）
数学	数	数学Ⅰ、数学Ａ 数学Ⅱ、数学Ｂ、数学Ｃ	数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ・数Ｃ
理科 ※２～４	理	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎 物理 化学 生物 地学	物基／化基／生基／地基 物 化 生 地
外国語	外	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	英 独 仏 中 韓
情報	情	情報Ⅰ	情Ⅰ

※１「地理歴史」及び「公民」から２科目を選択する場合、「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せを選択することはできません。また、「地理総合／歴史総合／公共」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

※２「基礎を付した科目」とは、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」を指します。

※３「基礎を付さない科目」とは、「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。

※４「同一名称を含む出題範囲・科目」とは、『物理基礎』と「物理」、『化学基礎』と「化学」、『生物基礎』と「生物」、『地学基礎』と「地学」を指します。

（２）教科・科目に係る個別テストの出題教科・科目名は、上記（１）によるほか次のように略しています。

教科名	科目名	科目略称
国語	現代の国語 言語文化	現国 言文
数学	数学Ａ 数学Ｂ 数学Ｃ 数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ	数Ａ 数Ｂ 数Ｃ 数Ⅰ 数Ⅱ 数Ⅲ
英語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ	英コⅠ 英コⅡ 英コⅢ 論表Ⅰ 論表Ⅱ 論表Ⅲ

【教育学部】

学部・課程・学科等名及び入学定員等［令和7年度(2025年度)志願倍率］			学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	教科・科目に係る個別テスト等 教科等	科目名等	2段階選抜
教育学部 [3.0] 150人 前期 75 後期 25 推薦 40 総合 10	学校教育教員養成課程	初等中等教育コース 140人 前期 72 後期 23 推薦 35 総合 10	前期 2月25日	国	国	国 数 外 その他	現国、言文(漢文を除く) 数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C 英コⅠ、英コⅡ、英コⅢ、 論表Ⅰ、論表Ⅱ、論表Ⅲ から1 ※5 グループディスカッション ※数Aは「図形の性質」「場合の数と確率」 ※数Bは「数列」 ※数Cは「ベクトル」	
				数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
				地歴 公民 理	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 から1又は2 ※2 ①物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から1 ※3 ②物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から2 ※4 ※1			
				外	英、独、仏、中、韓から1			
				情	情Ⅰ ［6教科8科目又は7教科8科目］			
			後期 3月12日			その他	小論文 グループディスカッション	
		特別支援教育コース 10人 前期 3 後期 2 推薦 5	前期 2月25日			国 数 外 その他	現国、言文(漢文を除く) 数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C 英コⅠ、英コⅡ、英コⅢ、 論表Ⅰ、論表Ⅱ、論表Ⅲ から1 ※5 グループディスカッション ※数Aは「図形の性質」「場合の数と確率」 ※数Bは「数列」 ※数Cは「ベクトル」	
			後期 3月12日			その他	小論文 グループディスカッション	

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」から1科目、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」から2科目
※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。
※3 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
※4 「理科」において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択していた場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。
※5 教科・科目に係る個別テスト等の〔 〕で示した配点は、教科・科目に係る個別テスト等で選択した教科の得点を合否判定に使用します。

大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等										その他の入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ	配点合計	
大学入学共通テスト	200	(100×2) (100)	100×2	①(100) ②(100×2)	200	50			950	学校推薦型選抜 総合型選抜 追加合格 第2次募集
教科・科目に係る個別テスト等	〔150〕※5		〔150〕※5		〔150〕※5			150	300	
計	350※5 200	200 100 200 100 200 100	200 350※5 200	100 200 100 200 100 200	200 350※5	50		150	1250	
大学入学共通テスト	200	(100×2) (100)	100×2	①(100) ②(100×2)	200	50			950	
教科・科目に係る個別テスト等							100	200	300	
計	200	200 100	200	100 200	200	50	100	200	1250	
大学入学共通テスト	200	(100×2) (100)	100×2	①(100) ②(100×2)	200	50			950	学校推薦型選抜 追加合格 第2次募集
教科・科目に係る個別テスト等	〔150〕※5		〔150〕※5		〔150〕※5			150	300	
計	350※5 200	200 100 200 100 200 100	200 350※5 200	100 200 100 200 100 200	200 350※5	50		150	1250	
大学入学共通テスト	200	(100×2) (100)	100×2	①(100) ②(100×2)	200	50			950	
教科・科目に係る個別テスト等							100	200	300	
計	200	200 100	200	100 200	200	50	100	200	1250	

【経済学部】

学部・課程・学科等名及び入学定員等［令和7年度(2025年度)志願倍率］		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	教科・科目に係る個別テスト等 教科等	科目名等	2段階選抜
経済学部 [4.4] 270人 前期 120 後期 65 推薦 55 総合 30	総合経済学科	前期 2月25日	国	国	数 外	数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C 英コⅠ、英コⅡ、英コⅢ、 論表Ⅰ、論表Ⅱ、論表Ⅲ から1 ※4 ※数Aは「図形の性質」「場合の数と確率」 ※数Bは「数列」 ※数Cは「ベクトル」	
			地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経 から2 ※1			
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
			理	物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から1 ※2			
			外	英、独、仏、中、韓から1			
			情	情Ⅰ ［6教科8科目又は7教科8科目］			
		後期 3月12日	国	国	その他	小論文	
			地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経 から2 ※1			
			数	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B・数Cから1 ※3			
			外	英、独、仏、中、韓から1			
			情	情Ⅰ ［5教科6科目又は6教科6科目］			

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。
※2 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
※3 「数学」の科目において、2科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
※4 教科・科目に係る個別テスト等及び計の〔 〕と＜ ＞で示した配点は、教科・科目に係る個別テスト等で選択した教科の得点を合否判定に使用します。

大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等										特色加点	その他の入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点合計		
大学入学共通テスト	100	100×2	100×2	100	200	50			850		学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒 社会人 私費外国人
教科・科目に係る個別テスト等			〔200〕※4		〈200〉※4				200		
計	100	200	〔400〕※4 〈200〉	100	〔200〕 〈400〉※4	50			1050	20	追加合格 第2次募集
大学入学共通テスト	100	100×2	100		100	50			550		
教科・科目に係る個別テスト等							200		200		
計	100	200	100		100	50	200		750		

【医学部】

学部・課程・学科等名及び入学定員等 [令和7年度(2025年度)志願倍率]		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	教科・科目に係る個別テスト等 教科等	科目名等	2段階選抜
医学部 [4.2] 185人 前期 126 後期 19 推薦 15 総合 25	医学科 90人 前期 65 (一般枠55) (地元出身者枠 10) 総合 25 (一般枠22) (地域枠3) ※4	前期 2月25日と26日	国	国	数 理 外 その他	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 物基・物 / 化基・化 / 生基・生 } から2 英コⅠ、英コⅡ、英コⅢ、 論表Ⅰ、論表Ⅱ、論表Ⅲ 面接(個人面接) ※数Aは「図形の性質」「場合の数と確率」 ※数Bは「数列」 ※数Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」	約3倍
			地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、公・倫、公・政経 } から1 ※1			
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
			理	物、化、生から2			
			外	英、独、仏、中、韓から1			
			情	情Ⅰ [6教科8科目]			
	看護学科 60人 前期 35 後期 10 推薦 15	前期 2月25日と26日	国	国	その他	小論文 面接(個人面接)	約3倍
			地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 } から1 ※2			
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
		後期 3月12日	理	物、化、生から1 ※3	その他	面接(個人面接)	約10倍
			外	英、独、仏、中、韓から1			
			情	情Ⅰ [6教科7科目]			
	先進医療科学科 生命健康科学コース 20人 前期 15 後期 5 臨床医工学コース 15人 前期 11 後期 4	前期 2月25日と26日	国	国	数 理 外 その他	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 物基・物 / 化基・化 / 生基・生 } から1 英コⅠ、英コⅡ、英コⅢ、 論表Ⅰ、論表Ⅱ、論表Ⅲ 面接(個人面接) ※数Aは「図形の性質」「場合の数と確率」 ※数Bは「数列」 ※数Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」	約3倍
			地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 } から1 ※2			
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
		後期 3月12日	理	物、化、生から2	その他	小論文 面接(個人面接)	約10倍
			外	英、独、仏、中、韓から1			
			情	情Ⅰ [6教科8科目]			

※1 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさない**こととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

※2 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

※3 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は出願資格を満たさないこととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

※4 令和8年度(2026年度)募集人員の医学部医学科地域枠定員は現在3名です。今後、文部科学省等に臨時定員増の申請を行う予定であり、審議の結果、承認された場合及び承認されなかった場合は、本要項iページ掲載の募集人員となります。審議結果(令和7年(2025年)10月下旬～11月上旬を予定)が分かり次第、本学ホームページで発表します。

大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等										その他の入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点 合計	
大学入学共通テスト	100	50	50×2	50×2	100	50			500	総合型選抜 追加合格 第2次募集
教科・科目に係る個別テスト等			100	100×2	100			150	550	
計	100	50	200	300	200	50		150	1050	
大学入学共通テスト	100	50	50×2	100	100	50			500	学校推薦型選抜 社会人 追加合格 第2次募集
教科・科目に係る個別テスト等							100	100	200	
計	100	50	100	100	100	50	100	100	700	
大学入学共通テスト	100	50	50×2	100	100	50			500	
教科・科目に係る個別テスト等								100	100	
計	100	50	100	100	100	50		100	600	
大学入学共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	100			1000	追加合格 第2次募集
教科・科目に係る個別テスト等			100	100	100			100	400	
計	200	100	300	300	300	100		100	1400	
大学入学共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	100			1000	
教科・科目に係る個別テスト等							150	150	300	
計	200	100	200	200	200	100	150	150	1300	

【理工学部】

学部・課程・学科等名及び入学定員等［令和7年度(2025年度) 志願倍率］			学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	教科・科目に係る個別テスト等 教科等	科目名等	2段階選抜
理工学部 [2.4] 395人 前期 257 後期 53 推薦 59 総合 26	理工学科	物理学連携プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 推薦 11 総合 2 機械工学プログラム 推薦 10 総合 5	前期 2月25日	国	国	数 理	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 物基・物 化基・化 } から1(ただし、第一志望とする場合は物理必須) ※数Aは「図形の性質」「場合の数と確率」 ※数Bは「数列」 ※数Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」	
				地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 } から1 ※1			
				数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
				理	物と化、生から1 } の2			
				外	英、独、仏、中、韓から1			
				情	情Ⅰ [6教科8科目]			
		知能機械システムプログラム 推薦 6 総合 1 建築学プログラム 推薦 5 総合 4	後期 3月12日	国	国	その他	面接(集団面接又は個人面接)	
				地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 } から1 ※1			
				数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
				理	物と化、生から1 } の2			
				外	英、独、仏、中、韓から1			
				情	情Ⅰ [6教科8科目]			
		数理科学プログラム 知能情報システムプログラム 推薦 9 総合 5 DX人材育成基盤プログラム 推薦 6 総合 7	前期 2月25日	国	国	数 理	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 物基・物 化基・化 } から1 ※数Aは「図形の性質」「場合の数と確率」 ※数Bは「数列」 ※数Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」	
				地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 } から1 ※1			
				数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
				理	物 化 生 } から2			
				外	英、独、仏、中、韓から1			
				情	情Ⅰ [6教科8科目]			
		生命・物質化学プログラム 推薦 12 地域環境科学プログラム 総合 2	後期 3月12日	国	国	その他	面接(集団面接又は個人面接)	
				地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 } から1 ※1			
				数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
				理	物 化 生 } から2			
				外	英、独、仏、中、韓から1			
				情	情Ⅰ [6教科8科目]			

※1 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等										特色加点	その他の入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点 合計		
大学入学共通テスト	150	75	50×2	50×2	200	25			650		学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒 私費外国人 追加合格 第2次募集
教科・科目に係る個別テスト等			200	200					400		
計	150	75	300	300	200	25			1050	20	
大学入学共通テスト	125	75	150×2	100×2	200	25			925		
教科・科目に係る個別テスト等								200	200		
計	125	75	300	200	200	25		200	1125		
大学入学共通テスト	150	75	50×2	50×2	200	25			650		学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒 私費外国人 追加合格 第2次募集
教科・科目に係る個別テスト等			200	200					400		
計	150	75	300	300	200	25			1050	20	
大学入学共通テスト	125	75	150×2	100×2	200	25			925		
教科・科目に係る個別テスト等								200	200		
計	125	75	300	200	200	25		200	1125		

【福祉健康科学部】

学部・課程・学科等名及び入学定員等［令和7年度(2025年度)志願倍率］			学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	教科・科目に係る個別テスト等 教科等	科目名等	2段階選抜
福祉健康科学部［3.6］ 100人 前期 68 後期 7 推薦 12 総合 13	福祉健康科学科	理学療法コース 30人 前期 22 後期 3 総合 5	前期 2月25日	国	国	その他	小論文 面接(個人面接)	約3倍
				地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 から1 ※1			
				数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
				理	物、化、生、地から2			
			後期 3月12日	外	英、独、仏、中、韓から1	その他	小論文 面接(個人面接)	約10倍
				情	情Ⅰ ［6教科8科目］			
		社会福祉実践コース 35人 前期 19 後期 4 推薦 12	前期 2月25日	国	国	その他	小論文 面接(個人面接)	約3倍
				地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 から2 ※2			
				数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
				理	物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から1 ※3			
			後期 3月12日	外	英、独、仏、中、韓から1	その他	小論文 面接(個人面接)	約10倍
				情	情Ⅰ ［6教科8科目又は7教科8科目］			
		心理学コース 35人 前期 27 総合 8	前期 2月25日	国	国	その他	小論文 面接(グループディスカッション ※6)	約3倍
				数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2			
				地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 から1又は2 ※2			
				理	①物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から1 ※3 ②物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から2 ※4 ※5			
				外	英、独、仏、中、韓から1			
				情	情Ⅰ ［6教科8科目又は7教科8科目］			

※1 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。
※3 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
※4 「理科」の科目において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択していた場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。
※5 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」から1科目、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」から2科目
※6 受験者数によりグループを編成できない場合は、試験当日に個人面接に変更することがあります。

大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等										その他の入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点 合計	
大学入学共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	30			930	総合型選抜 追加合格 第2次募集
教科・科目に係る個別テスト等							300	100	400	
計	200	100	200	200	200	30	300	100	1330	
大学入学共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	30			930	
教科・科目に係る個別テスト等							100	300	400	
計	200	100	200	200	200	30	100	300	1330	
大学入学共通テスト	200	100×2	100×2	100	200	30			930	学校推薦型選抜 追加合格 第2次募集
教科・科目に係る個別テスト等							300	100	400	
計	200	200	200	100	200	30	300	100	1330	
大学入学共通テスト	200	100×2	100×2	100	200	30			930	
教科・科目に係る個別テスト等							100	300	400	
計	200	200	200	100	200	30	100	300	1330	
大学入学共通テスト	200	(100×2) (100)	100×2	①(100) ②(100×2)	200	30			930	総合型選抜 追加合格 第2次募集
教科・科目に係る個別テスト等							100	300	400	
計	200	200 100	200	100 200	200	30	100	300	1330	

◎大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等、その他の注意事項

全学部共通事項

【大学入学共通テストについて】

（１）「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、出願資格はありません（リスニングを免除された者は除く）。

「英語」は、リーディング 100 点、リスニング 100 点、合計 200 点の配点となっていますが、選抜区分（一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜）に関わらず、学部ごとに下記のように 200 点満点に換算して配点します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を 200 点満点に換算して利用します。

・教育学部、経済学部、福祉健康科学部

リーディング 160 点、リスニング 40 点　合計 200 点

・医学部、理工学部

リーディング 100 点、リスニング 100 点　合計 200 点

（２）大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。なお、本学では令和８年度（2026 年度）の入学試験において、令和７年度以前の大学入学共通テストの成績は利用しません。

【教科・科目に係る個別テスト等について】

教科・科目に係る個別テスト等で必要な教科・科目を受験しなかった場合は０点ではなく、不合格となります。

【追加合格、欠員補充第２次募集について】

後期日程入学手続締切期日までに入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格者を決定し補充しますが、欠員補充第２次募集を行うこともあります。

【その他】

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等及び出身高等学校長等が作成した調査書等に基づいて総合判定します。

教育学部

【大学入学共通テストについて】

・大学入学共通テストの（　）で示した配点の取扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
地歴 公民 理	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 から1又は2 ※2 ①物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から1 ※3 ②物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から2 ※4 ※1 ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」から1科目、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」から2科目 ※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。 ※3 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。 ※4 「理科」の科目において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択していた場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。「地理歴史」及び「公民」で１科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。	「地理歴史」及び「公民」を２科目受験し、 「理科」において２科目を受験した場合は、 「地理歴史」及び「公民」の第１解答科目の得点 ＋ 「理科」の第１解答科目の得点 ＋ 「地理歴史」及び「公民」の第２解答科目の得点 ／ 「理科」の第２解答科目の得点 高得点のもの ＝ 合否判定に使用する得点

【教科・科目に係る個別テスト等について】

前期日程

（１）国語、数学、外国語から試験開始後に１教科を選択して受験してください。

（２）グループディスカッションは、コースごとに行います。出題されたテーマについて、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力や自身の考え・意見の表現力、集団における主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。

（３）調査書はグループディスカッションの参考にします。

後期日程

（１）小論文はコースごとに学校教育に関わる出題を行い、文章の理解力、論理的思考力、表現力、並びに教育に対する関心などを評価します。

（２）グループディスカッションは、コースごとに行います。出題されたテーマについて、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力や自身の考え・意見の表現力、集団における主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。

（３）調査書はグループディスカッションの参考にします。

【同点者について】

・それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

経済学部

【教科・科目に係る個別テスト等について】

前期日程

（１）教科・科目に係る個別テスト等の配点等の〔　〕と＜　＞で示した配点は、教科・科目に係る個別テストで選択した教科の得点を合否判定に使用します。

（２）合否判定について

前期日程は、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの成績に特色加点を加えた合計点により合否判定を行います。特色加点は、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、加点枠を設けます。申請は任意とし、申請がなければ当初配点のみ（特色加点は０点）で合否判定を行います。

（３）特色加点について

高等学校入学以降において、友人、先輩後輩、先生、家族、地域の人々と一緒に、あるいは支えられて、志願者が主体的に興味と関心をもって取り組んできた、学び・課外活動等様々な活動及びその経験の本学部入学後の活用について、活動の根拠となる資料等とともに Web を通じて出願時に提出してください。

上記の活動の具体例としては、探究活動などの学習活動、生徒会・学校行事・部活動等の課外活動、家庭・地域など学校以外の活動、留学体験、コンテスト等での表彰・顕彰、資格・検定取得等、学校・地域・家庭での「多様な人々との協働」の中で志願者が積極的に興味と関心をもって取り組んだ活動となります。

根拠となる資料等の具体例としては、プレゼンテーションファイル・論文等の学習成果物や、活動に関わる広報・新聞等の印刷物・ホームページ記事、賞状、資格・免許証等が考えられます。

これらに基づいて、活動実績の優劣ではなく、本学部がアドミッション・ポリシーに定める「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

後期日程

・小論文は、高等学校の段階における総合的な学力到達度を検査する大学入学共通テストを補うものとして、次の資質をみようとするものであり、広く社会科学的素材に基づく出題を行います。ただし、専門的知識・用語は必要としません。

（ａ）理解力（あるいは大意把握力）　（ｂ）論理的思考力　（ｃ）表現力

これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

医学部

【第１段階選抜について】

・医学科、看護学科及び先進医療科学科において、入学志願者が著しく多い場合は、大学入学共通テストの成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第１段階選抜を行います。

前期日程

・医学科は一般枠と地元出身者枠を合わせて募集人員の約３倍まで、看護学科は募集人員の約３倍まで、先進医療科学科は各コースそれぞれ募集人員の約３倍までを第１段階選抜の合格者とし、その合格者に対して教科・科目に係る個別テスト等を実施します。

後期日程

・看護学科は募集人員の約 10 倍まで、先進医療科学科は各コースそれぞれ募集人員の約 10 倍までを第１段階選抜の合格者とし、その合格者に対して教科・科目に係る個別テスト等を実施します。

【教科・科目に係る個別テスト等について】

前期日程

（１）医学科において、理科の科目は、試験開始後に２科目を選択してください。

（２）医学科において、理科の出題範囲は次のとおりです。

（ア）物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

（イ）化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

（ウ）生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

（３）医学科において、理科の科目（物理、化学、生物）間で 20 点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。

（４）医学科の面接は、医学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
（５）看護学科の小論文は、課題式や資料式の小論文を出題し、論理的思考力、表現力、読解力及び看護学を学ぶための適性を評価します。
（６）看護学科の面接は、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
（７）先進医療科学科において、理科の科目は、試験開始後に１科目を選択してください。
（８）先進医療科学科において、理科の出題範囲は次のとおりです。
（ア）物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
（イ）化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
（ウ）生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
（９）先進医療科学科において、理科の科目（物理、化学、生物）間で 20 点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。
（10）先進医療科学科の面接は、課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

後期日程

（１）看護学科の面接は、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
（２）先進医療科学科の小論文は、医学・医療に関する深い思考力、判断力、表現力を評価します。
（３）先進医療科学科の面接は、課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

【同点者について】

同点者がいる場合は、次のとおりの取扱いとします。

前期日程

・医学科は大学入学共通テストの「数学Ⅰ、数学Ａ」の高得点者を高順位とします。大学入学共通テストの「数学Ⅰ、数学Ａ」も同点の場合は、大学入学共通テストの外国語の高得点者を高順位とします。
・看護学科は大学入学共通テストの「数学Ⅰ、数学Ａ」の高得点者を高順位とします。
・先進医療科学科は大学入学共通テストの「数学Ⅰ、数学Ａ」の高得点者を高順位とします。

後期日程

・看護学科は大学入学共通テストの「数学Ⅰ、数学Ａ」の高得点者を高順位とします。
・先進医療科学科は大学入学共通テストの「数学Ⅰ、数学Ａ」の高得点者を高順位とします。

【一般枠と地元出身者枠の選抜方法について】

（１） 地元出身者枠として出願資格を満たす者は、一般枠と併願することができ、第１志望、第２志望を選択します。
（２） 一般枠と地元出身者枠それぞれの募集人員を満たすまで、専願者と併願者（第１志望）を総合得点の高い順から志望する枠の合格者とします。
（３） 一般枠、地元出身者枠のどちらか一方の合格者が募集人員を満たした以降は、募集人員を満たしていない枠について、当該枠の専願者及び併願者を総合得点の高い順から合格者とします。ただし、当該枠の専願者及び併願者の成績が著しく低い場合は合格者とはせず、当該枠の募集人員に達するまで、募集人員を満たした枠より総合得点の高い順から合格者とします。

理工学部

【大学入学共通テストについて】

前期日程及び後期日程とも、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストで「物理」を選択していることが必要です。「物理」を選択していない志願者がこれらのプログラムを志望プログラムに記入した場合は、これらのプログラムの配属対象とはなりません。また、これらのプログラムを配属対象から外した結果、どのプログラムの配属上限数内に収まらない場合は、不合格と判定されます。

※物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストにおいて「物理」・「化学」若しくは「物理」・「生物」の組み合わせで科目選択をしなければなりません。

【教科・科目に係る個別テスト等について】

前期日程

（１）理科の出題範囲は次のとおりです。

（ア）物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

（イ）化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

（２）物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第１志望とする場合は、教科・科目に係る個別テストの『物理』を選択していることが必要です。

・教科・科目に係る個別テストの『物理』を選択していない志願者は、数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、ＤＸ人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムから第１志望を選び、これらのうち１つ以上を志望プログラムに選択してください。

・教科・科目に係る個別テストの『物理』を選択していない志願者が物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第１志望プログラムとした場合は、第２志望プログラム以下の数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、ＤＸ人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムのうち、最上位の志望プログラムが第１志望プログラムとして判定されます。この場合、当初の志望プログラム順位は第二志望以降に順次繰り下げられます。教科・科目に係る個別テストの『物理』を選択していない志願者が数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、ＤＸ人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムのどのプログラムも志願していない場合は、合否判定は行われませんので注意してください。

※教科・科目に係る個別テストの『物理』を選択していない志願者が物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第２志望以下とする場合は、教科・科目に係る個別テストの『物理』は選択しなくても志願可能ですが、入学後は高校レベルの物理分野の基礎能力が必要となりますので、考慮して志望プログラム順位を決めてください。

（３）特色加点について

大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの成績、並びに特色加点により合格者を決定します。特色加点は、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、加点枠を設けます。申請は任意とし、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びを、根拠となる資料等とともにWebを通じて出願時に提出してください。主体的な活動や学びの具体例としては、探究型学習や課題研究などの学習研究活動、部活動や生徒会活動などの課外活動、ボランティアや地域活動などの社会活動、資格・検定取得、コンテスト等への参加、海外留学

経験、その他主体的な活動などが考えられます。また、根拠となる資料等の具体例としては、活動過程の記録（ポートフォリオ）、賞状、新聞記事等が考えられます。これらに基づいて、活動実績の優劣ではなく、活動を通しての成長及び入学者選抜の基本方針で示す「主体性・協働力」、「知的好奇心・志望分野の課題への興味・意欲・関心・粘り強さ」、「自立的に考え、かつ他者と共同して取り組む姿勢」、「リーダーシップと行動力を発揮する意思」について総合的に評価します。

後期日程

面接に先立って、志望動機、理工学に関わる分野への関心、本学入学後の目標などに関する「志望理由書」への記入を求めます。面接は集団面接又は個人面接で行い、提出書類と志望理由書を参考にして、理工学に関わる分野への関心・意欲・理解、及び今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについてみるとともに積極性、自己表現力を評価します。また、理工学で必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する試問も含むことがあります。集団面接ではグループディスカッションは行いません。

【合否判定について】

前期日程

前期日程は、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの成績、並びに特色加点により合格者を決定します。合否判定及び仮配属決定は以下の手順で実施します。

（１）「１次選考」では、大学入学共通テスト得点と教科・科目に係る個別テスト得点を合計した成績上位者において、合格基準を上回った受験者を「１次選考適格者」とします。

（２）「１次選考適格者」について、大学入学共通テスト得点と教科・科目に係る個別テスト得点に特色加点を合計した成績順を「特色加点付加順位」とします。

（３）「２次選考」では、「特色加点付加順位」の順に並べて、上位から受験者の志望に応じて順次、各プログラムの上限数範囲内で合格者として仮配属プログラムを決定します。

（４）（３）の選定で各受験者が記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格者となりません。

※志望プログラムは第 10 志望まで全て埋める必要はありませんが、「２次選考」において各受験者が記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんので、配属を希望するプログラムは全て記入しておいてください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。

後期日程

後期日程は、大学入学共通テスト及び面接の成績により合格者を決定します。合否判定及び仮配属決定は以下の手順で行います。

（１）大学入学共通テスト得点と面接得点を合計した成績順に並べ、上位から受験者の志望に応じて順次、各プログラムの上限数範囲内で合格者として仮配属プログラムを決定します。

（２）（１）の選定で各受験者が記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格者となりません。

※志望プログラムは第７志望まで全て埋める必要はありませんが、各受験者が記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんので、配属を希望するプログラムは全て記入しておいてください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。

各プログラムの募集の目安は以下のとおりとし、プログラム配属上限数は募集の目安を元に決定されます。

各プログラムの募集の目安

学科	プログラム群	プログラム	募集の目安 一般選抜 前期日程	募集の目安 一般選抜 後期日程
理工学科	数学、情報システム	数理科学プログラム	13	
		知能情報システムプログラム	37	9
		ＤＸ人材育成基盤プログラム	20	7
	物理、電子電気エネルギー	物理学連携プログラム	10	
		電気エネルギー・電子工学プログラム	43	9
	機械、メカトロニクス	機械工学プログラム	42	10
		知能機械システムプログラム	16	5
	化学、生命・物質科学	生命・物質化学プログラム	35	5
	環境科学、建築	地域環境科学プログラム	13	
		建築学プログラム	28	8
合計			257	53

【同点者について】

前期日程・後期日程

同点者がいる場合は、大学入学共通テストの「数学Ⅰ、数学Ａ」の高得点者を高順位とします。大学入学共通テストの「数学Ⅰ、数学Ａ」も同点の場合は、大学入学共通テストの外国語の高得点者を高順位とします。

福祉健康科学部

【大学入学共通テストについて】

・大学入学共通テストの（　）で示した配点の取扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
地歴 公民 理	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公 公・倫、公・政経 から1又は2 ※2 ①物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から1 ※3 ②物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から2 ※4 ※1 ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」から1科目、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」から2科目 ※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。 ※3 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。 ※4 「理科」の科目において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択していた場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。「地理歴史」及び「公民」で１科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。	「地理歴史」及び「公民」を２科目受験し、「理科」において２科目受験した場合は、 「地理歴史」及び「公民」の第１解答科目の得点 ＋ 「理科」の第１解答科目の得点 ＋ 「地理歴史」及び「公民」の第２解答科目の得点 ／ 「理科」の第２解答科目の得点 → 高得点のもの ＝ 合否判定に使用する得点

【第１段階選抜について】

各コースにおいて、入学志願者が著しく多い場合は、大学入学共通テストの成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第１段階選抜を行います。

前期日程

各コースの募集人員の約３倍までを合格者とし、その合格者に対して教科・科目に係る個別テスト等を実施します。

後期日程

各コースの募集人員の約 10 倍までを合格者とし、その合格者に対して教科・科目に係る個別テスト等を実施します。

【教科・科目に係る個別テスト等について】

前期日程・後期日程

小論文及び面接（※）を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などを評価します。なお、面接の得点が、面接の配点の 20%以下の場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

※ 面接は、理学療法コース及び社会福祉実践コースでは「個人面接」、心理学コースでは「グループディスカッション」を行います。なお、心理学コースでは、受験者数によりグループを編成できない場合は、試験当日に個人面接に変更することがあります。

【同点者について】

それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

学校推薦型選抜募集人員

【学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）】

学部	課程・学科・コース等			推　薦　区　分	募集人員	推　薦　人　員
教育学部	学校教育教員養成課程		特別支援教育コース		5	制限なし
	計				5	
経済学部	総合経済学科			普通推薦	45	各高等学校等から4名以内
				商業推薦	10	制限なし
	計				55	
医学部	看護学科				15	各高等学校等から3名以内
	計				15	
理工学部	理工学科	知能情報システムプログラム		一般推薦	5	各高等学校等から3名以内【注】
				女子枠	2	制限なし
				サイエンス推薦	2	制限なし
		ＤＸ人材育成基盤プログラム		一般推薦	4	制限なし
				女子枠	1	制限なし
				サイエンス推薦	1	制限なし
		電気エネルギー・電子工学プログラム		一般推薦	9	各高等学校等から4名以内【注】
				女子枠	2	制限なし
		機械工学プログラム		一般推薦	8	制限なし
				女子枠	2	制限なし
		知能機械システムプログラム		一般推薦	4	制限なし
				女子枠	1	制限なし
				サイエンス推薦	1	制限なし
		生命・物質化学プログラム		一般推薦	8	制限なし
				女子枠	4	制限なし
	計				54	
福祉健康科学部	福祉健康科学科		社会福祉実践コース	普通推薦	11	制限なし
				福祉推薦	1	制限なし
	計				12	
合　計					141	

【注】理工学部一般推薦における各高等学校等からの推薦人員には、女子枠志願者（一般推薦併願）を含みます。

【学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）】

学部	課程・学科・コース等		推薦区分	募集人員	推薦人員
教育学部	学校教育 教員養成課程	初等中等教育コース		３５	制限なし
	計			３５	
理工学部	理工学科	建築学プログラム	一般推薦	3	制限なし
			女子枠	2	制限なし
	計			5	
合計				４０	

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

〈教育学部（特別支援教育コース）・経済学部・医学部（看護学科）・理工学部・福祉健康科学部〉

①　推薦要件

次の各号に該当する者で、高等学校長、中等教育学校長、特別支援学校長及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の長が責任をもって推薦できる者

（１）高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等（以下「高等学校等」という。）を令和８年（2026年）３月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和７年（2025年）４月１日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。）

（２）合格した場合は、入学することを確約できる者

（３）次表の各学部・課程・学科・コース等の掲げる推薦要件を満たす者

学部	課程・学科・コース等		推薦区分	推　薦　要　件
教育学部	学校教育 教員養成課程	特別支援教育コース		(1) 人物的に優れ、かつ、特別支援教育に対する意欲と情熱を有し、教員としての適性がある者 (2) 学業成績が優秀であり、調査書の学習成績概評が**Ａ段階**に属する者
経済学部	総合経済学科		普通推薦	(1) 高等学校等の普通科又はその他の学科で本学が普通科に準じると認める学科・課程（いわゆる職業教育を主とする学科以外の学科）を卒業見込みの者 (2) 調査書の学習成績概評が**Ａ段階**に属する者 (3) 校内外を問わず自主的勉学ないし活動において特に優れた成果をあげている者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
			商業推薦	(1) 高等学校等の商業に関する学科・課程又はその他の学科を卒業見込みの者。ただし、**商業に関する学科・課程以外**を卒業見込みの者については、**商業に関する教科・科目を 20 単位以上**修得した（見込みを含む。）者 (2) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者
医学部	看護学科			(1) 高等学校等における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が**Ａ段階**に属する者 (2) 看護職者あるいは看護学研究者として活躍しようとする、はっきりした目的意識を持ち、他者への思いやりと共感、生涯学習への意志と体力を持った者

学部	課程・学科・コース等		推薦区分	推　薦　要　件
理工学部	理工学科	知能情報システムプログラム	一般推薦女子枠	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」又は「化学」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5) 女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子
		ＤＸ人材育成基盤プログラム		(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」又は「化学」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5) 女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子
		電気エネルギー・電子工学プログラム		(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者、又は特に「物理」が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5) 女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子
		機械工学プログラム		(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が**Ａ段階**に属する者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5) 女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子
		知能機械システムプログラム		(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5) 女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子
		生命・物質化学プログラム		(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」又は「化学」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5) 女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子

		知能情報システムプログラム	サイエンス推薦	(1)科学に関する特別活動に取り組んだ経験のある者 (2) 志望するプログラムへの専攻の意志が強い者
		ＤＸ人材育成基盤プログラム		
		知能機械システムプログラム		

学部	学科・コース等		推薦区分	推薦要件
福祉健康科学部	福祉健康科学科	社会福祉実践コース	普通推薦	(1) 本コースへの専攻の意志が強い者 (2) 調査書の学習成績概評が**Ａ段階**に属する者 (3) 人物的に優れ、かつ、福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意志を有する者
			福祉推薦	(1) 本コースへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の**福祉に関する学科・課程又はその他の学科**を卒業見込みの者。ただし、次のいずれかに該当する者 ① 文部科学省が指定する「福祉系高等学校等」「特例高等学校等」において**「教科福祉」に含まれる科目を 12 単位以上**修得した（見込みを含む。）者 ② ①以外の高等学校等で福祉関係のコースや課程、系列において、**福祉に関する科目を 12 単位以上**修得した（見込みを含む。）者 (3) 調査書の学習成績概評が**Ａ段階**に属する者 (4) 人物的に優れ、かつ、福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意志を有する者

② 配点

学部	課程・学科・コース・推薦別等	小論文	基礎能力試験	面接					志望理由書	推薦書	調査書	合計
				プレゼンテーション	個人面接	グループディスカッション	集団面接	女子枠面接				
教育学部	学校教育教員養成課程 特別支援教育コース	100			150	100						350
経済学部	総合経済学科	60				60			30			150
医学部	看護学科	100			100							200
理工学部	一般推薦		300				150			50		500
	女子枠		300				150	50		50		550
	サイエンス推薦			200	250					50		500
福祉健康科学部	福祉健康科学科 社会福祉実践コース	150			100							250

【注】必要な試験項目を受験しなかった場合は、０点ではなく、不合格となります。

③ 選抜方法、面接、採点・評価等

大学入学共通テストを免除し、各試験項目、志望理由書、推薦書及び調査書に基づいて総合判定します。

【教育学部】

小論文、個人面接、グループディスカッション、志望理由書、推薦書及び調査書を総合的に評価し、合格者を決定します。

（１）小論文

・現代の社会に関わる出題を行い、大学入学までに修得が期待される学力に基づく理解力、論理的思考力、表現力などを評価します。

（２）個人面接・グループディスカッション

・複数の面接委員により、個人面接ではコースへの関心、意欲、理解力及び自己表現力などを評価します。グループディスカッションでは、出題されたテーマについて、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力や自身の考え・意見の表現力、集団における主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。

（３）調査書等

・志望理由書、推薦書、調査書は面接の参考にします。

【経済学部】

調査書、志望理由書、推薦書、小論文及び面接を総合的に評価し合格者を決定します。

（１）面接

・面接は、課題についてのグループディスカッションを行います。

（2）採点・評価

・小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。

・面接では、積極性や理解力、自己表現能力を評価します。

・調査書、志望理由書、推薦書等の提出書類では、高等学校等での活動や本学入学後の勉学意欲について評価します（志望理由書は、内容とその表現の両方を評価します）。

【医学部看護学科】

小論文及び面接（個人面接及びグループディスカッション）により合格者を決定します。調査書、推薦書及び自己推薦書は、参考資料として用います。

なお、同点者がいる場合は、面接の高得点者を高順位とします。

（採点・評価）

・小論文においては、課題式や資料式問題について解答を求め、理解力、統合力、思考力、表現力、独創性、論理性などを評価します。

・個人面接においては、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲、自己理解力などを総合的に評価します。

・グループディスカッションにおいては、コミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性などを総合的に評価します。

【理工学部】

一般推薦

基礎能力試験、面接、推薦書及び調査書を総合的に評価して合格者を決定します。志望理由書は参考資料として用います。

基礎能力試験では、高等学校等で学習する内容に関する学力、及び科学的思考能力を評価します。

推薦書及び調査書では、高等学校等での学習及び課外活動状況について評価します。

面接は集団面接で行い、提出書類も参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、及び今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて評価するとともに積極性、自己表現力を評価します。また、志望するプログラムで必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する試問も含むことがあります。集団面接ではグループディスカッションは行いません。面接委員からの質問に一人ずつ答えてもらいます。質問は全員に同じ場合と、別々の場合があります。

女子枠

基礎能力試験、集団面接、女子枠面接、推薦書及び調査書を総合的に評価して合格者を決定します。志望理由書は参考資料として用います。

基礎能力試験では、高等学校等で学習する内容に関する学力、及び科学的思考能力を評価します。

推薦書及び調査書では、高等学校等での学習及び課外活動状況について評価します。

集団面接では、提出書類も参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、及び今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて評価するとともに積極性、自己表現力を評価します。また、志望するプログラムで必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する試問も含むことがあります。グループディスカッションは行いません。面接委員からの質問に一人ずつ答えてもらいます。質問は全員に同じ場合と、別々の場合があります。

女子枠面接では、理工系分野における先端科学技術の研究開発を行いたい理由と将来の計画及び現在までの関連した取組を評価します。

サイエンス推薦

科学に関する活動実績を示す資料（発表会・報告会資料等）、プレゼンテーション、面接、推薦書及び調査書を総合的に評価して合格者を決定します。志望理由書は参考資料として用います。

推薦書及び調査書では、高等学校等での学習及び課外活動状況について評価します。

プレゼンテーションでは、科学に関する活動についての発表と、それらに関する質疑応答を行い、理解・自己表現力を評価します。

面接は個人面接で行い、提出書類も参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、及び今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて評価するとともに積極性、自己表現力を評価します。また、志望するプログラムで必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する試問も含みます。

（女子枠及び一般推薦の合否判定について）

1）女子枠として出願資格を満たす者は、一般推薦と併願することができます。

2）合否判定では、まず女子枠志願者（女子枠専願者及び一般推薦併願者）に対して女子枠面接点を含む女子枠総合評価点の順に並べ、女子枠募集人員を目安に総合的に女子枠合格者を判定します。

次に、一般推薦志願者（女子枠合否判定において不合格となった一般推薦併願者を含む）に対して総合評価点（女子枠面接点を除く）の順に並べ、一般推薦募集人員を目安に総合的に一般推薦合格者を判定します。

【福祉健康科学部】

小論文及び面接（個人面接）を総合的に評価し、合格者を決定します。志望理由書、推薦書、調査書は、参考資料として用います。

（採点・評価）

・小論文では、読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。

・面接では、コミュニケーション力、積極性、リーダーシップなどを評価します。

④　出願期間　令和７年（2025 年）11 月４日（火）～11 月７日（金）

⑤　試験日　令和７年（2025 年）11 月 19 日（水）：教育学部・経済学部・医学部看護学科・理工学部・福祉健康科学部

⑥　合格者発表　令和７年（2025 年）12 月１日（月）

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

※本学の学校推薦型選抜Ⅱに出願した者は、本学の総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）に出願することはできません。
※本学では令和８年度（2026 年度）の入学試験において、令和７年度以前の大学入学共通テストの成績は利用しません。

〈教育学部〉

①　推薦要件

次の各号に該当する者で、高等学校長、中等教育学校長、特別支援学校長及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の長が責任をもって推薦できる者

（１）高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等（以下「高等学校等」という。）を令和８年（2026 年）３月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和７年（2025 年）４月１日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。）

（２）合格した場合は、入学することを確約できる者

（３）次表に掲げる推薦要件を満たす者

学部	課程・コース		推　薦　要　件
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育コース 大分の小学校教員志望枠	人物的に優れ、かつ、初等中等教育に対する意欲と情熱を有し、教員としての適性がある者 卒業後は、大分を中心とした地域の小学校教員を主とした学校教員として地域社会への貢献ができる者

②　試験日及び大学入学共通テスト指定教科・科目等

（１）試験日：令和７年（2025 年）11 月 19 日（水）

（２）大学入学共通テスト

学部	課程・コース	大学入学共通テスト指定教科・科目名		
		教科	科　目　名　等	配点
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育コース	国語	国	200
		数学	数Ⅰ・数Ａと数Ⅱ・数Ｂ・数Ｃの２	100×2
		地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、 地総/歴総/公、公・倫、公・政経 から１又は２ ※２	300 （地歴公民 100 又は 200、理科 200 又は 100）
		理科	①物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から１　※３ ②物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から２　※４ ※１	
		外国語	英、独、仏、中、韓から１	200
		情報	情Ⅰ ［６教科８科目又は７教科８科目］	50

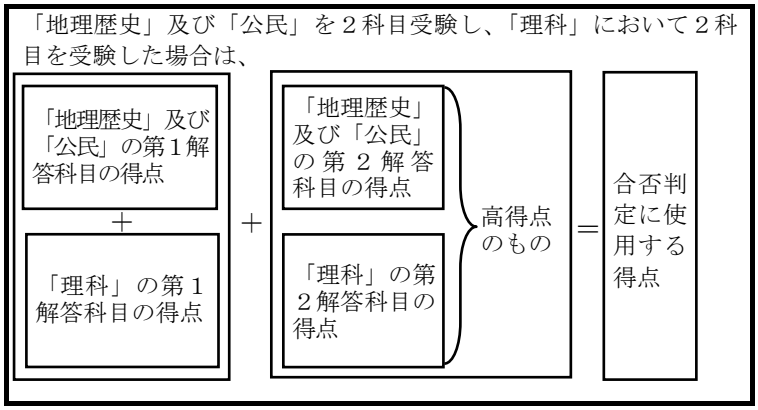
※１「地理歴史」及び「公民」から２科目と「理科」から１科目、又は「地理歴史」及び「公民」から１科目と「理科」から２科目

※２「地理歴史」及び「公民」から２科目を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

※３「理科」の科目において、２科目受験した場合は、第１解答科目の得点を合否判定に使用します。

※４「理科」において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択していた場合は、第１解答科目の得点を合否判定に使用します。「地理歴史」及び「公民」で１科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。

（ア）大学入学共通テストの地理歴史、公民、理科の配点の取扱いは次のとおりです。



（イ）「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、受験資格はありません（リスニングを免除された者は除く）。
大学入学共通テスト「英語」はリーディング 100 点、リスニング 100 点、合計 200 点の配点となっていますが、教育学部ではリーディング 160 点、リスニング 40 点、合計 200 点満点に換算して配点します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を 200 点満点に換算して利用します。

③　配点

学部	課程・コース	大学入学共通テスト	個人面接	グループディスカッション	志望理由書	推薦書	調査書	合　計
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育コース	950	300	300				1550

④　選抜方法、面接、採点・評価等

大学入学共通テスト、個人面接、グループディスカッション、志望理由書、推薦書及び調査書を総合的に評価し、合格者を決定します。

（１）個人面接・グループディスカッション

・複数の面接委員により、個人面接ではコースへの関心、意欲、理解力及び自己表現力などを評価します。グループディスカッションでは、出題されたテーマについて、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力や自身の考え・意見の表現力、集団における主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。

（２）調査書等

・志望理由書、推薦書、調査書は面接の参考にします。

⑤　同点者の取扱い

総得点が同点の場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

⑥　出願期間　　令和７年（2025 年）11 月４日（火）～11 月７日（金）

⑦　合格者発表　令和８年（2026 年）２月 10 日（火）

〈理工学部〉

①　推薦要件

次の各号に該当する者で、高等学校長、中等教育学校長、特別支援学校長及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の長が責任をもって推薦できる者

（１）高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等（以下「高等学校等」という。）を令和８年（2026 年）３月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和７年（2025 年）４月１日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。）

（２）合格した場合は、入学することを確約できる者

（３）次表に掲げる推薦要件を満たす者

学部	学科・プログラム		推薦区分	推　薦　要　件
理工学部	理工学科	建築学プログラム	一般推薦 女子枠	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等において「物理」を履修している者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 (5) 女子枠については、上記(1)～(4)に該当する女子

②　試験日及び大学入学共通テスト指定教科・科目等

（１）試験日：令和７年（2025 年）11 月 19 日（水）

（２）大学入学共通テスト

学部	学科・プログラム		大学入学共通テスト指定教科・科目名		
			教科	科　目　名　等	配点
理工学部	理工学科	建築学プログラム	国語	国	125
			数学	数Ⅰ・数Ａと数Ⅱ・数Ｂ・数Ｃの２	150×2
			地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、 地総/歴総/公、公・倫、公・政経から１　※１	75
			理科	物と 化、生から１ } の２	100×2
			外国語	英、独、仏、中、韓から１	200
			情報	情Ⅰ ［６教科８科目］	25

※１「地理歴史」及び「公民」の科目において、２科目受験した場合は、第１解答科目の得点を合否判定に使用します。

（ア）「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、受験資格はありません（リスニングを免除された者は除く）。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を 200 点満点に換算して利用します。

③　配点

学　部	学科・プログラム		推薦区分	大学入学共通テスト	小論文	個人面接	女子枠面接	志望理由書	推薦書	調査書	合　計
理工学部	理工学科	建築学プログラム	一般推薦	925	250	300				50	1525
			女子枠	925	250	300	50			50	1575

④　選抜方法、面接、採点・評価等

一般推薦

大学入試共通テスト、小論文、個人面接及び調査書を総合的に評価し、合格者を決定します。

小論文では課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。調査書では、高等学校等での学習及び課外活動状況について評価します。

女子枠

大学入試共通テスト、小論文、個人面接、女子枠面接及び調査書を総合的に評価し、合格者を決定します。

小論文では課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。調査書では、高等学校等での学習及び課外活動状況について評価します。女子枠面接では、建築分野における先端科学技術の研究開発を行いたい理由と将来の計画及び現在までの関連した取組を評価します。

⑤　同点者の取扱い

総得点が同点の場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

⑥　女子枠及び一般推薦の合否判定について

1）女子枠として出願資格を満たす者は、一般推薦と併願することができます。

2）合否判定では、まず女子枠志願者（女子枠専願者及び一般推薦併願者）に対して女子枠面接点を含む女子枠総合評価点の順に並べ、女子枠募集人員を目安に総合的に女子枠合格者を判定します。
次に、一般推薦志願者（女子枠合否判定において不合格となった一般推薦併願者を含む）に対して総合評価点（女子枠面接点を除く）の順に並べ、一般推薦募集人員を目安に総合的に一般推薦合格者を判定します。

⑦　出願期間　　令和７年（2025 年）11 月４日（火）～11 月７日（金）

⑧　合格者発表　令和８年（2026 年）２月 10 日（火）

総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

〔経済学部〕【英語資格・簿記資格に基づく選抜制度】 **〔総合型選抜Ⅰ〕**

実施学部 学 科 名	経済学部　総合経済学科
募集人員	20 名（英語資格　５名、簿記資格　15 名）

〔出願資格〕

次の（１）に該当する者で、かつ（２）の要件を満たし、入学試験に合格した場合は入学することを確約できる者です。

（１）高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を卒業した者及び令和８年(2026年) ３月卒業見込みの者(外国の高等学校に留学のため、令和７年（2025年）４月１日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、調査書の履修科目全体の学習成績の状況が**3.5以上**の者

（２）次のいずれかの資格を有する者

英語資格：実用英語技能検定（英検）２級以上
TOEICスコア480点以上
GTECスコア930点以上（本出願時に有効なオフィシャルスコアに限る）

簿記資格：日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）２級以上

選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選抜します。選抜方法は２段階選抜とします。

（１）第１次選考

自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物により選抜します。

自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物では、高等学校等での学習活動（高大接続関連事業による学習活動を含む。）、取得資格に関わる活動状況や今後の目標、本学入学後の勉学意欲等について評価します。

※第１次選考の合格者数は、英語資格・簿記資格とも募集人員の３倍程度とします。

（２）第２次選考

第１次選考の合格者を対象に、小論文及び個人面接により選抜します。

小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。英語資格の個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力を評価します。簿記資格の個人面接では、提出書類も参考にして、資格取得を通して身につけた能力を大学の学びにどのように結び付けたいかなどの積極性・学習意欲・自己表現能力を評価します。なお、英語資格の個人面接では英語での質疑応答を行います。簿記資格の個人面接では出願時に提出した「経済社会の諸問題について」を用いてその内容を５分で発表してもらった後、発表内容及び提出書類も参考にして質疑応答を行います。

試験の配点は下記のとおりです。

小　論　文	個 人 面 接
50 点	50 点

出 願 期 間	令和７年（2025 年）９月１日（月）～９月５日（金）
試　験　日 （第２次選考）	令和７年（2025 年）９月 24 日（水）
合格者発表日	令和７年（2025 年）11 月４日（火）

総合型選抜

実施学部 学 科 名	経済学部　総合経済学科
募集人員	10 名

〔出願資格〕

次の（1）に該当する者で、かつ（2）の要件を満たし、入学試験に合格した場合は入学することを確約できる者です。

（1）高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を卒業した者及び令和８年（2026 年）３月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和７年（2025 年）４月１日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、調査書の履修科目全体の学習成績の状況が **3.5 以上**の者

（2）次のいずれかの要件を満たす者

①高等学校等の総合的な探究（学習）の時間（課題研究等を含む。）等での課題探究型学習の経験者

②大学（本学又は他大学）による高校生対象の課題探究型学習の経験者

③課題探究型学習成果コンテストの経験者

④上記①②③の他、高等学校等での課題探究型学習の経験者

※　③の成果コンテストの事例として、「高校生ビジネスプラン・グランプリ」（日本政策金融公庫）、「全国高等学校生徒商業研究発表大会」（全国商業高等学校協会）、「高校生なるほどアイデアコンテスト」（大分大学経済学部）などの各種団体や大学が主催するコンテストがあります。

選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選抜します。選抜方法は２段階選抜とします。

（1）第１次選考

自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物により選抜します。

自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物では、高等学校等での学習活動（高大接続関連事業による学習活動を含む。）、課題探究型学習に関わる活動状況や今後の目標、本学入学後の勉学意欲等について評価します。

※第１次選考の合格者数は、募集人員の３倍程度とします。

（2）第２次選考

第１次選考の合格者を対象に、小論文及び個人面接により選抜します。

小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。個人面接では、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的に学習に取り組む態度を評価します。

なお、個人面接では、出願時に提出した「課題探究型学習の成果について」（書式Ｂ）のみを用いて学習の内容を５分で発表してもらった後、その内容及び提出書類も参考にして質疑応答を行います。

試験の配点は下記のとおりです。

小　論　文	個 人 面 接
50 点	50 点

出 願 期 間	令和７年（2025 年）９月１日（月）～９月５日（金）
試　験　日 （第２次選考）	令和７年（2025 年）９月 24 日（水）
合格者発表日	令和７年（2025 年）11 月４日（火）

実施学部・学科名	理工学部　理工学科
プログラム名 ・ 募集人員	知能情報システムプログラム　５名 ＤＸ人材育成基盤プログラム　７名 電気エネルギー・電子工学プログラム　２名 機械工学プログラム　５名 知能機械システムプログラム　１名 地域環境科学プログラム　２名 建築学プログラム　４名
〔出願資格〕 次の各号に該当する者 （１）高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等（以下「高等学校等」という。）を令和８年（2026 年）３月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和７年（2025 年）４月１日以降、学年の途中において卒業と認められた者を含む。） （２）合格した場合は、入学することを確約できる者 （３）次表の各プログラムの掲げる出願要件を満たす者	
知能情報システムプログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の情報又は計算機に関する工業系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得した（見込みを含む）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者
ＤＸ人材育成基盤プログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の情報又は計算機に関する工業系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得した（見込みを含む）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者
電気エネルギー・電子工学プログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の電気又は電子に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得した（見込みを含む）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者、又は特に物理が優秀な者
機械工学プログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の機械又は電気に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得した（見込みを含む）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がＡ段階に属する者
知能機械システムプログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の機械系、電気系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、機械、電気に関する教科・科目を 20 単位以上修得した（見込みを含む）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者
地域環境科学プログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の環境系又は土木系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、環境又は土木に関する教科・科目を 20 単位以上修得した（見込みを含む）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がＡ段階に属する者
建築学プログラム	(1) 本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の建築系又は土木系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、建築又は土木に関する教科・科目を 20 単位以上修得した（見込みを含む）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がＡ段階に属する者

<table>
<tr>
<td>選抜方法等</td>
<td>
提出書類（自己推薦書、調査書及び活動報告書）、面接で試問を行うとともにプログラムによっては、基礎的な筆記試験を課します。
自己推薦書及び調査書では、高等学校等での学習及び出席状況や、今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて評価します。
活動報告書では、卒業制作、課外活動、生徒会活動、ボランティア活動のほか各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加などの諸活動の状況や各種資格の取得、ジュニアマイスター顕彰、各種表彰などの実績を評価します。
面接は集団面接又は個人面接で行い、提出書類も参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解を評価するとともに積極性、自己表現力を評価します。また、志望するプログラムで必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する筆記試験又は試問も含みます。なお、知能情報システムプログラム、ＤＸ人材育成基盤プログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、面接に先立って、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を行います。また、面接ではグループディスカッションは行いません。
各プログラムの内容は次表のとおりです。
<table>
<tr><th>プログラム</th><th>試験項目</th></tr>
<tr><td>知能情報システムプログラム</td><td>面接と筆記試験</td></tr>
<tr><td>ＤＸ人材育成基盤プログラム</td><td>面接と筆記試験</td></tr>
<tr><td>電気エネルギー・電子工学プログラム</td><td>面接</td></tr>
<tr><td>機械工学プログラム</td><td>面接</td></tr>
<tr><td>知能機械システムプログラム</td><td>面接</td></tr>
<tr><td>地域環境科学プログラム</td><td>面接と筆記試験</td></tr>
<tr><td>建築学プログラム</td><td>面接と筆記試験</td></tr>
</table>
配点は以下のとおりです。
<table>
<tr><th>自己推薦書</th><th>調査書</th><th>活動報告書</th><th>面接、筆記試験</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>50</td><td>50</td><td>150</td><td>250</td><td>500</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td>令和７年（2025 年）９月１日（月）～９月５日（金）</td></tr>
<tr><td>試　　験　　日</td><td>令和７年（2025 年）９月 24 日（水）</td></tr>
<tr><td>合格者発表日</td><td>令和７年（2025 年）11 月４日（火）</td></tr>
</table>

総合型選抜

総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

※本学の総合型選抜Ⅱに出願した者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）に出願することはできません。

※本学では令和８年度（2026 年度）の入学試験において、令和７年度以前の大学入学共通テストの成績は利用しません。

〔教育学部〕 **〔総合型選抜Ⅱ〕**

実施学部 課程・コース名	教育学部 学校教育教員養成課程・初等中等教育コース
募集人員	10 名：「教科の試験」の各教科〔音楽、美術、保健体育、技術、家庭〕の選択者から、それぞれ２名程度

〔出願資格〕

次の各号に該当する者。

（１）高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を卒業した者及び令和８年（2026 年）３月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和７年（2025 年）４月１日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます）。

（２）大学入学共通テストの本学が指定する教科・科目を受験する者。

（３）合格した場合は入学することを確約できる者。

選抜方法等

「大学入学共通テスト」、「教科の試験」、「個人面接」及び提出書類を総合して選抜します。

配点は以下のとおりです。

大学入学共通テスト	教科の試験	個人面接	合計
600 （200×３区分）	600	300	1500

(1) 大学入学共通テスト

以下の表のＡからＥの５つの区分から任意の３つを受験してください。４つ以上を受験した場合は、高得点の３つの成績を利用します。

区分	教科	科目
A	国語	国
B	数学	数Ⅰ・数Ａと数Ⅱ・数Ｂ・数Ｃの２
C	地歴 公民 情報	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、 地総/歴総/公、公・倫、公・政経 情Ⅰ から２　※１ ※３
D	理科 情報	物基/化基/生基/地基、物、化、生、地 情Ⅰ から２　※２
E	外国語	英、独、仏、中、韓から１　※４

※１「地理歴史」、「公民」において２科目を受験し、その科目が選択して解答することができない組合せ（「公・倫」と「公・政経」、又は「地総/歴総/公」と「地総/歴総/公」で選択解答したものと同一名称を含む科目の組合せ）であった場合は、「地理歴史」、「公民」の第１解答科目及び「情報Ⅰ」の合計得点を当該区分の成績とします。

※２「理科」において「基礎を付した科目」と「基礎を付さない科目」の２科目を受験し、同一名称を含む出題範囲・科目の組み合わせであった場合は、「理科」の第１解答科目及び「情報Ⅰ」の合計得点を当該区分の成績とします。

	※３『「地理歴史」、「公民」及び「情報」』と『「理科」及び「情報」』を選択する場合、「情Ⅰ」を重複して選択することはできません。 ※４「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、受験資格はありません（リスニングを免除された者は除く）。大学入学共通テスト「英語」はリーディング 100 点、リスニング 100 点、合計 200 点の配点となっていますが、教育学部ではリーディング 160 点、リスニング 40 点、合計 200 点満点に換算して配点します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を 200 点満点に換算して利用します。 （2）教科の試験 出願時に「音楽」、「美術」、「保健体育」、「技術」、「家庭」から１つを選択してください。試験では、当該教科の能力及び当該教科の教員としての適性などを評価します。 各教科の試験内容は 67～69 ページに記載しています。 （3）個人面接 複数の面接委員により、初等中等教育コースへの関心、意欲、理解力及び自己表現力などを評価します。 （4）提出書類 出願時に調査書、自己推薦書、活動報告書を提出してください。提出書類は「教科の試験」及び「個人面接」の参考にします。 【注意事項】 (1)「教科の試験」で選択した教科ごとに総合成績で合否判定をします。それぞれの教科において同点者がいる場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。 (2) 大学入学共通テストの得点が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。 (3)「教科の試験」又は「個人面接」の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
出願期間	令和７年（2025 年）11 月４日（火）～11 月７日（金）
試験日	令和７年（2025 年）11 月 22 日（土）
合格者発表日	令和８年（2026 年）２月 10 日（火）
その他	本学の学校推薦型選抜Ⅱとの併願はできません。

「教科の試験」の各教科の試験内容

【音楽】

実技及びプレゼンテーションにより総合的に評価します。実技では課題曲の演奏により、音楽の技能、表現力などを評価します。プレゼンテーションでは自己表現力、音楽科の教育への意欲などを評価します。

（１）実技

以下の①、②の課題曲を演奏してください。試験室への楽譜（紙媒体）の持込みは可能です。

①モーツァルト又はベートーヴェンのピアノ・ソナタの第１楽章

任意に選んで、反復なしで演奏をしてください。ただし、次の曲は除きます。モーツァルトのピアノ・ソナタ KV 282、及びベートーヴェンのピアノ・ソナタ Op. 27-2、Op. 101、Op. 106、Op. 109、Op. 110、Op. 111。選択したピアノ・ソナタの作曲者、作品番号等は出願書類に記入してください。使用する楽譜の版は問いません。

②林古渓　作詞／成田為三 作曲《浜辺の歌》

ピアノで弾き歌いをしてください（１番のみ)。

楽譜は、中学校（音楽）の教科書に掲載されているものを使用してください。

（２）プレゼンテーション

実技の課題曲について、どのような意図をもって演奏に取り組んだのかを説明してもらいます（５分程度)。説明の中でピアノ演奏をしたり歌ったりしても構いません。その後で、説明内容や実技の演奏、提出書類などに基づく質疑応答を行います。

【美術】

実技及びプレゼンテーションにより総合的に評価します。実技では水彩による自由表現により発想力、基本的な造形能力、色彩表現能力を評価します。プレゼンテーションでは、創作意欲や学業に対する意欲、美術科の教育への意欲などを評価します。

（１）実技

水彩による表現を行います。制作時間は 90 分です。

サイズ：Ｂ３の画用紙ボード（画用紙ボードは試験場で用意します)

持参用具：筆記用具、水彩用具一式（アクリル絵具も可)

※衣服が汚れないようにエプロン等を持参することをお勧めします。

（２）プレゼンテーション

持参作品*と、実技試験の作品及びその制作過程についてプレゼンテーションをしてもらいます。その後で、プレゼンテーションや提出書類に基づく質疑応答を行います（時間は、質疑応答を合わせて、１人当たり 15 分程度を目安としますが、受験者数によって変更する可能性があります)。

＊持参作品について

・次の２点を試験当日、持参して提出してください。

１）平面又は立体作品１点

２）デッサン１点（B3 サイズ以上)

・１)、２）とも、中学校卒業以降に制作されたものとします。

・受験者本人が中学校卒業以降に制作したことを証明する作品証明書を作成し、作品の裏面・背面等に貼付してください（作品証明書の書式は出願時に大学ホームページからダウンロードしてください)。

・１）、２）とも、受験者が搬入出できるものとします（搬入口は高さ 200 ㎝×幅 170 ㎝）。なお、試験当日、持参作品の重さ、大きさ、風雨等の天候により所定の駐車場から搬入口まで持ち運びが困難な場合は、事前に教育学部学務係（TEL 097－554－7511）までお問い合わせください。
・持参作品は評価の参考とするため写真撮影等の記録を行い、プレゼンテーション終了後に返却します。

【保健体育】

プレゼンテーション及び実技により総合的に評価します。プレゼンテーションでは、スポーツや健康、教育への意識や理解度及び実践度などとともに、保健体育科の教育への意欲を評価します。実技では、陸上運動、器械運動、球技の基本的技能を評価します。

（１）プレゼンテーション

これまでの経験や活動等について説明をし、また、その場で与えた課題に対するプレゼンテーションを行います（プレゼンテーションにはパフォーマンスを含めても構いません）。さらに、教育や保健体育に関する今日的課題等に関する質問や、提出書類に基づく質問をします。

（２）実技（プレゼンテーションの後、当日の受験者数に応じて適宜、軽食時間又は休憩時間をはさんで実施します。）

個人種目と集団種目から１種目ずつ指定し、合計２種目で実施します（表１）。種目は試験当日指定します。

表１　実技試験の種目

個人種目	陸上運動	どちらか１種目を指定
	器械運動	
集団種目	バレーボール	どちらか１種目を指定
	バスケットボール	

＊持参するものについて

・実技は屋外（土のグラウンド）と屋内（体育館）で実施しますので、表２に示すものを各自で持参してください（忘れ物に対しては、貸与等の救済措置をしません。忘れ物がないように気を付けてください）。

表２　実技試験のために受験者が各自で用意するもの

屋内用シューズ	バレーボールやバスケットボールの専用シューズも可
屋外用シューズ	陸上競技用シューズも可（スパイクは不可）
着替えなど	実技試験用のウェアなど運動時に必要な衣服、タオルなど
補水用の飲料	茶やミネラルウォーターの他、電解質入り飲料などは可
プロテクターなどの補助器具	鉄棒用のみ可（各自で必要な場合のみ）
テーピング	損傷部位の保護や予防として、処置を可とする（指、手首など）

＊以上のほか、必要と思われる物は持参してよい。ただし、物により、不許可になる場合がある。

・雨天時、陸上運動については、屋内で実施します。
・貴重品などは原則として個人で管理してください。

【技術】

実技及びプレゼンテーションにより総合的に評価します。実技では、技術科教育に関わる課題解決力と思考力・判断力・表現力等を評価します。プレゼンテーションでは他者へ伝える力やコミュニケーション力、技術科の教育への意欲を評価します。

（１）実技

社会や生活に存在する技術的な課題解決や工夫・創造などに基づいた構想・設計に関する出題を行います。必要なものは、筆記用具（HB 又は B の黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り）です。

（２）プレゼンテーション

実技で解答した内容に基づいて発表を行った後、その内容について質疑応答を行います。また提出書類を参考にして、志望動機や技術科教育に対する意欲についても質疑応答を行います。

【家庭】

プレゼンテーションにより生活や家庭科への関心・意欲・理解、課題改善のために必要な思考力・判断力・表現力等を評価します。さらに、家庭科の教育への意欲についても評価します。

（１）プレゼンテーション

提出書類の「活動報告書」に記載した「中学校卒業以降、高等学校等で取り組んだ生活や家庭科に関する課題探究的な学習・活動の成果」の内容について、ポスター発表をしてもらいます。事前に作成したポスター＊を試験当日に持参し、そのポスターを用いて５分間で発表してください。その後、発表内容や提出書類に基づいて質疑応答を行います。

＊ポスターについて

・ポスターはＡ０（ゼロ）サイズ・１枚とします。書式は自由です。

・発表内容に関わる成果物等があれば、当日持参し、プレゼンテーションに用いても構いません。

・ポスター等は、評価の参考とするため写真撮影等の記録を行いプレゼンテーション終了後に返却します。

実施学部学科名	医学部医学科
募集人員	25 名（一般枠 22 名、地域枠 3 名）　※地域枠の募集人数についてはｉページを参照

〔出願資格〕　**※　一般枠と地域枠との併願は認められません。**

【一般枠】

高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を令和６年（2024年）３月以降に卒業した者及び令和８年（2026年）３月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和７年（2025年）４月１日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、大学入学共通テストの実施教科・科目のうち本学が指定した教科･科目を受験し、かつ、次の要件を満たす者です。

（１）高等学校等における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が**Ａ段階**に属する者

（２）臨床医あるいは医学研究者として活躍しようとする、明確な目的意識を持ち、病める人々への思いやりと共感、生涯学習への意志と体力を持った者

（３）合格した場合は、入学することを確約できる者

【地域枠】

上記出願資格に加え、次の要件を満たす者です。

・大分県内の小学校又は中学校を卒業し、大学卒業後、大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者で、大分県が指定するへき地医療拠点病院で実施する体験活動（８月中の連続する３日間実施）を受けた者

※　令和６年（2024年）８月に本体験活動を受け、「体験活動日誌」及び「体験活動感想文」を提出済の者については、本体験活動を再度受ける必要はありません。

※　本体験活動は、地域枠で出願するためにのみ実施するものです。

選抜方法等

（１）第１次選考

一般枠、地域枠ともに、大学入学共通テストの成績により第１次選考（一般枠は約55名、地域枠は約30名）を行い、第２次選考の対象者を決定します。

（２）第２次選考

一般枠、地域枠ともに、面接（個人面接及びグループディスカッション）を行い、自己推薦書、調査書、特別活動に関する調査書及び大学入学共通テストの成績を総合的に評価し、合格者を決定します。

なお、同点者がいる場合は、大学入学共通テストの総得点の高得点者、大学入学共通テストの理科の高得点者の順に高順位とします。

実施教科・科目等及び配点

大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等								
教科	科目名等	試験の区分	国語	数学	地理歴史 公　民	理科	外国語	情報	面接	合計
国	国	共通テスト	100	50×2	50	50×2	100	50		500
数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの２	個別テスト等							300	300
		計	100	100	50	100	100	50	300	800
地歴 公民	地総・地探、歴総・日探 歴総・世探、 公・倫、公・政経 } から１									
理	物、化、生から２									
外	英、独、仏、中、韓 から１									
情	情Ⅰ 〔６教科８科目〕									

【注１】「地理歴史」及び「公民」の科目において、２科目受験した場合は、第１解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第１解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさない**こととなりますので、第１解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

【注２】「英語」はリスニングを含みます。リーディングとリスニングの双方を受験してください（リスニングを免除された者は除く）。「英語」の成績は、 リーディング100点とリスニング100点の合

	計200点満点とします。なお、入学者選抜の配点に当たっては、上記の表に記載している大学入学共通テストの外国語の配点に換算します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を200点満点に換算して利用します。
出願期間	令和７年（2025 年）11 月４日（火）～11 月７日（金）
試験日 (第２次選考)	令和８年（2026 年）２月８日（日）　午前の部　９：40～ 午後の部　13：40～
合格者発表	令和８年（2026 年）２月 10 日（火）
その他	地域枠で入学した学生全員に、大分県医師修学資金が貸与されます。大学卒業後、キャリア形成プログラムの対象となり、同プログラムに基づき、大分県知事の指定する医療機関において、貸与を受けた期間の２分の３に相当する期間を医師として勤務した場合、全額返還を免除します。

実施学部 学科 コース名	福祉健康科学部　福祉健康科学科
	理学療法コース 心理学コース
募集人員	理学療法コース　５名 心理学コース　　８名

〔出願資格〕

高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を令和６年（2024年）３月以降に卒業した者及び令和８年（2026年）３月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和７年（2025年）４月１日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、大学入学共通テストの実施教科・科目のうち本学が指定した教科･科目を受験し、かつ、次の要件を満たす者です。

【理学療法コース】

（１）高等学校等における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がＡ段階に属する者
（２）理学療法コースへの専攻の意思が強く、リハビリテーションに関する専門知識や技能を生かし、社会に貢献したいという強い意思と適性を有する者
（３）合格した場合は、入学することを確約できる者

【心理学コース】

（１）高等学校等における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がＡ段階に属する者
（２）心理学コースへの専攻の意思が強く、心理学に関する専門知識や技能を生かし、社会に貢献したいという強い意思と適性を有する者
（３）合格した場合は、入学することを確約できる者

選抜方法等

大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等（小論文、面接）及び提出書類を総合して選抜します。

【理学療法コース】

１．教科・科目に係る個別テスト等

小論文と個人面接を行います。小論文では、特に思考力、判断力、表現力と地域や現代社会への関心を評価します。個人面接では、特に主体性、協働力、意欲、積極性、コミュニケーション力、リーダーシップを評価します。調査書と自己推薦書は、参考資料として用います。

２.大学入学共通テスト

知識・技能を評価するために６教科８科目により行います。特に数学・理科の能力を高く評価します。

３．配点

大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等									
教科	科目名等	試験の区分	国語	数学	地歴公民	理科	外国語	情報	小論文	個人面接	合計
国	国	共通テスト	100	100×2	50	100×2	200	50			800
数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの２	個別テスト等							100	250	350
		計	100	200	50	200	200	50	100	250	1150
地歴公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 から１ ※										
理	物、化、生、地から２										
外	英、独、仏、中、韓から１										
情	情Ⅰ 〔６教科８科目〕										

※「地理歴史」及び「公民」の科目において、２科目受験した場合は、第１解答科目の得点を合否判定に使用します。

【心理学コース】

１．教科・科目に係る個別テスト等

小論文、個人面接及びグループディスカッションを行います。小論文では、特に思考力、判断力、表現力と地域や現代社会への関心を評価します。個人面接及びグループディスカッションでは、特に主体性、協働力、意欲、積極性、コミュニケーション力、リーダーシップを評価します。

調査書と自己推薦書は、参考資料として用います。

２．大学入学共通テスト

知識・技能を評価するために６～７教科８科目により行います。全教科の能力を総合的に評価します。

３．配点

大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
教科	科目名等	試験の区分	国語	数学	地歴 公民	理科	外国語	情報	小論文	個人面接	グループディスカッション	合計
国	国	共通テスト	100	50×2	(50×2) (50)	①(50) ②(50×2)	100	20				470
数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの２	個別テスト等							200	250	200	650
地歴 公民 理	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公、公・倫、公・政経 から１又は２ ※１ ①物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から１ ※２ ②物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から２ ※３ ※４	計	100	100	100 50	50 100	100	20	200	250	200	1120
外	英、独、仏、中、韓から１											
情	情Ⅰ 〔６教科８科目又は７教科８科目〕											

※１「地理歴史」及び「公民」の科目から２教科を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

※２「理科」の科目において、２科目受験した場合は、第１解答科目の得点を合否判定に使用します。

※３「理科」において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択していた場合、第１解答科目の得点を合否判定に使用します。「地理歴史」及び「公民」で１科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないことになります。

※４「地理歴史」及び「公民」から２科目と「理科」から１科目、又は「地理歴史」及び「公民」から１科目と「理科」から２科目

【注意事項（理学療法コース・心理学コース共通）】

（１）大学入学共通テストの合計点（傾斜後の得点）が約 50%以下の場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

（２）個人面接及びグループディスカッションの得点がそれぞれ 20%以下の場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

（３）同点者がいる場合は、大学入学共通テストの総得点の高得点者を高順位とします。

（４）「英語」はリスニングを含みます。リーディングとリスニングの双方を受験してください（リスニングを免除された者は除く）。「英語」の成績は、リーディング 160 点とリスニング 40 点の合計点（200 点満点）とします。なお、入学者選抜の配点に当たっては、上記の表に記載している大学入学共通テストの外国語の配点に換算します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を 200 点満点に換算して利用します。

（５）志願者が多く、１日で全ての試験を実施することができない場合は２日間で行うことがあります。なお、試験を１日で実施するか、２日間で実施するかについては、令和７年（2025年）10月24日（金）までに大分大学ホームページ（https://www.oita-u.ac.jp）でお知らせします。

出願期間	令和７年（2025 年）10 月６日（月）～10 月 10 日（金）
試験日	令和７年（2025 年）11 月 19 日（水）（志願者多数の場合、翌日も試験を行うことがあります）
合格者発表日	令和８年（2026 年）２月 10 日（火）

総合型選抜

帰国生徒選抜

	経済学部	理工学部
実施学部 学科等名	総合経済学科	物理学連携プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 建築学プログラム 数理科学プログラム 知能情報システムプログラム ＤＸ人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム
募集人員	若干名（定員内）	若干名（定員内）

〔出願資格〕

（経済学部）

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により海外に移住し、次の（１）～（２）いずれかに該当する者です。

（理工学部）

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により海外に移住し、次の（１）～（２）いずれかに該当し、かつ、英語能力試験の「TOEIC L&R と S&W の両方」又は、「TOEFL iBT」を 2024 年１月９日以降に受験している者です。

（１）外国の正規の学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含みます。）を2024年４月１日から2026年３月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者で、外国において最終の学年を含め２年以上継続して正規の学校教育を受けているもの

ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなしません。

（２）外国において、次のいずれかの資格を2024年又は2025年に取得した者

○　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格

○　ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格

○　フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

○　欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格

○　グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格及びインターナショナルＡレベル資格

※GCE-Aレベル資格の科目数等に関する要件：GCE-Aレベル試験において１科目以上合格（Ｅ評価以上）

<table>
<tr><td rowspan="5">選 抜 方 法 等</td><td>経済学部</td><td colspan="2">理工学部</td></tr>
<tr><td rowspan="4">大学入学共通テストを免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。</td><td colspan="2">大学入学共通テストを免除し、学力試験、面接、英語能力試験「TOEIC L&R と S&W の両方」又は「TOFLE iBT」の成績及び提出書類を総合して選考します。</td></tr>
<tr><td>プログラム
教科</td><td>物理学連携ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
電気ｴﾈﾙｷﾞｰ・電子工学ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
機械工学ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
知能機械ｼｽﾃﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
建築学ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ</td><td>数理科学ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
知能情報ｼｽﾃﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
ＤＸ人材育成基盤ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
生命・物質化学ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
地域環境科学ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ</td></tr>
<tr><td>理科</td><td>「物理基礎・物理」</td><td>「物理基礎・物理」
「化学基礎・化学」 から１</td></tr>
<tr><td>数学</td><td colspan="2">「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａ、数学Ｂ、数学Ｃ」
※数学Ａは「図形の性質、場合の数と確率」
※数学Ｂは「数列」
※数学Ｃは「ベクトル」</td></tr>
</table>

出　願　期　間	令和８年（2026 年）１月５日（月）～１月９日（金）
試　　験　　日	令和８年（2026 年）１月 28 日（水）
合格者発表日	令和８年（2026 年）２月 17 日（火）

社会人選抜

〔経済学部〕 **〔社会人選抜〕**

実施学部 学科名	経済学部　総合経済学科
募集人員	若干名（定員内）
〔出願資格〕 令和８年（2026年）４月１日現在で、下記（１）～（３）に示すいずれかの基礎資格取得後、社会人経験を５年以上有する満23歳以上の者です。 なお、社会人経験には、家事従事期間及び定職を持ち、定時制、夜間又は通信制の学校（大学を含む。）に在学した期間が含まれます。 （１）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 （２）通常の課程による12年の学校教育を修了した者 （３）学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	
選抜方法等	大学入学共通テストを免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。
出願期間	令和８年（2026 年）１月５日（月）～１月９日（金）
試験日	令和８年（2026 年）１月 28 日（水）
合格者発表日	令和８年（2026 年）２月 17 日（火）

〔医学部〕　　〔社会人選抜〕

実施学部 学科名	医学部　看護学科
募集人員	若干名（定員内）
〔出願資格〕 次の各号のいずれかに該当する者のうち、令和８年（2026年）４月１日現在、社会人経験４年以上を有する年齢25歳以上の者で、合格した場合は、入学することを確約できる者です。 なお、社会人経験には、家事従事期間及び定職を持ち、定時制又は通信制の高等学校に在学した期間を含みます。 （１）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 （２）通常の課程による12年の学校教育を修了した者 （３）学校教育法施行規則第150条（第６号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	
選抜方法等	大学入学共通テストを免除し、出願書類、小論文及び面接を総合評価の上、合格者を決定します。
出願期間	令和７年（2025 年）７月７日（月）～７月 11 日（金）
試験日	令和７年（2025 年）８月 19 日（火）
合格者発表日	令和７年（2025 年）９月８日（月）

私費外国人留学生選抜

	経済学部	理工学部
実施学部 学科等名	総合経済学科	物理学連携プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 建築学プログラム 数理科学プログラム 知能情報システムプログラム ＤＸ人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム
募集人員	若干名（定員内）	若干名（定員内）

〔出願資格〕

経済学部：次の（１）及び（２）を全て満たしていること。

理工学部：次の（１）、（２）及び（３）を全て満たしていること。

（１）日本国籍を有しない者で、外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2026年３月31日までに修了見込みの者、又はこれに準じる者で文部科学大臣の指定した者

ただし、出願時点で日本の国籍と外国の国籍を有する者（いわゆる二重国籍）については、入学手続完了期日までに日本国籍を離脱していることを条件として、日本国籍を有しない者として扱います。詳細は大分大学入試課までお問い合わせください。

（２）独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」（2024年度の第１回、第２回又は2025年度の第１回、第２回の成績の利用を可とするが、複数回受験した者は、出願時にいずれかを指定すること）を受験し、学部ごとに下記の要件を満たしている者

（経済学部）

下記の経済学部で課せられている全試験科目を受験し、日本語の「聴解・聴読解」、「読解」の総得点が180点以上であること、及び総合科目と数学の得点の合計が200点以上であること。

（理工学部）

下記の理工学部で課せられている全試験科目を受験し、日本語の「聴解・聴読解」、「読解」、「記述」の総得点が５割以上であること。

（３）英語能力試験の「TOEIC L&R と S&W の両方」又は、「TOEFL iBT」を受験していること。ただし、2024年１月９日以降に受験した試験に限る。

日本留学試験で課す科目について

学部	学　科　等	利用科目	数学の選択	理科の選択	出題言語
経済学部	総合経済学科	日本語 総合科目 数学	コース１ （文系）	（該当なし）	日本語 又は 英語
理工学部	物理学連携プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 建築学プログラム 数理科学プログラム 知能情報システムプログラム ＤＸ人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム	日本語 理科 数学	コース２ （理系）	物理及び化学の２科目	日本語 又は 英語

本学で実施する学力試験等について

学部	学　科　等	試　験　項　目
経済学部	総合経済学科	数学又は英語から１教科 　数学　「数学Ⅰ、数学Ⅱ」 　英語　「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ、英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ、 　　英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 　　論理・表現Ⅲ」 小論文 面　接
理工学部	物理学連携プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 建築学プログラム	理　科　「物理基礎、物理」 数　学　「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａ、数学Ｂ、数学Ｃ」 ※数学Ａは「図形の性質、場合の数と確率」 ※数学Ｂは「数列」 ※数学Ｃは「ベクトル」 面　接
	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム ＤＸ人材育成基盤プログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム	理　科　「物理基礎、物理」 　　「化学基礎、化学」　から１科目 数　学　「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａ、数学Ｂ、数学Ｃ」 ※数学Ａは「図形の性質、場合の数と確率」 ※数学Ｂは「数列」 ※数学Ｃは「ベクトル」 面　接

出　願　期　間	令和８年（2026 年）１月５日（月）～１月９日（金）
試　　験　　日	令和８年（2026 年）１月 28 日（水）
合格者発表日	令和８年（2026 年）２月 17 日（火）
選抜方法等	日本留学試験並びに本学で実施する学力試験等（上記）及び出願書類を総合して選考します。 なお、理工学部では、上記と併せて、英語能力試験の「TOEIC L&R と S&W の両方」又は、「TOEFL iBT」の成績も選考に利用します。

障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。

（１）申出期限

募集要項にて公表します。ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点で速やかに申し出てください。

申出期限経過後でも可能な限り相談に応じますが、十分な対応ができない場合もあります。

（２）申出方法

申請書（診断書等必要書類添付）を提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

（３）申 出 先

〒870-1192　大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課　TEL　097-554-7471

災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮

災害に関する特別措置（入学検定料等）につきましては、本学ホームページ（https://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/important.html）でお知らせします。

入試過去問題の使用について

大分大学は、「入試過去問題活用宣言」に参加を表明しています。ただし、出題科目である「数学」及び「小論文」は参加しません。

（１）本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出された問題を使用して出題することがあります。

なお、過去問題は必ず使用するとは限りません。

（２）入試過去問題を使用して出題する場合は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、入試過去問題を使用した場合は、入学試験終了後、受験者に分かる形で使用過去問題を公表します。

（３）「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のホームページにて公表しています。

https://www.nyushikakomon.jp/

令和7年度（2025年度） 大分大学入学者選抜試験実施状況

	選抜区分	一般選抜(前期日程)							一般選抜（後期日程）							学校推薦型選抜							総合型選抜							帰国・社会人・外国人選抜					合　計						
	学科・コース等	募集	志願	志願倍率	受験	合格	入学	合格倍率	募集	志願	志願倍率	受験	合格	入学	合格倍率	募集	志願	志願倍率	受験	合格	入学	合格倍率	募集	志願	志願倍率	受験	合格	入学	合格倍率	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	志願倍率	受験	合格	入学	合格倍率
教育学部	初等中等教育コース	72	126	1.8	82	72	68	1.1	23	222	9.7	44	37	34	1.2	35	58	1.7	58	35	35	1.7	10	13	1.3	13	7	7	1.9						140	419	3.0	197	151	144	1.3
	特別支援教育コース	3	5	1.7	5	3	3	1.7	2	18	9.0	4	2	2	2.0	5	8	1.6	8	5	5	1.6													10	31	3.1	17	10	10	1.7
	教育学部　計	75	131	1.7	87	75	71	1.2	25	240	9.6	48	39	36	1.2	40	66	1.7	66	40	40	1.7	10	13	1.3	13	7	7	1.9						150	450	3.0	214	161	154	1.3
経済学部	総合経済学科	120	247	2.1	239	151	134	1.6	65	752	11.6	258	84	68	3.1	55	105	1.9	105	56	56	1.9	30	84	2.8	83	30	30	2.8	若干	5	5	4	1	270	1,193	4.4	690	325	289	2.1
	経済学部　計	120	247	2.1	239	151	134	1.6	65	752	11.6	258	84	68	3.1	55	105	1.9	105	56	56	1.9	30	84	2.8	83	30	30	2.8	若干	5	5	4	1	270	1,193	4.4	690	325	289	2.1
医学部	医学科　※1	65	285	4.4	152	70	68	2.2															35	156	4.5	79	35	35	2.3						100	441	4.4	231	105	103	2.2
	看護学科	35	82	2.3	80	43	40	1.9	10	66	6.6	13	10	7	1.3	15	45	3.0	45	15	15	3.0								若干	0	0	0	0	60	193	3.2	138	68	62	2.0
	先進医療科学科 生命健康科学コース　※1	15	58	3.9	42	22	19	1.9	5	57	11.4	12	5	3	2.4																				20	115	5.8	54	27	22	2.0
	先進医療科学科 臨床医工学コース	11	30	2.7	30	15	13	2.0	4	34	8.5	13	5	5	2.6																				15	64	4.3	43	20	18	2.2
	医　学　部　計	126	455	3.6	304	150	140	2.0	19	157	8.3	38	20	15	1.9	15	45	3.0	45	15	15	3.0	35	156	4.5	79	35	35	2.3	若干	0	0	0	0	195	813	4.2	466	220	205	2.1
理工学部	数理科学プログラム	257	430	1.7	402	15	12	1.3	53	373	7.0	101			1.4															若干	0	0	0	0	395	931	2.4	631	15	12	1.4
	知能情報システムプログラム					38	34						13	11		9	23	2.6	23	9	9	2.6	5	10	2.0	10	6	6	1.7	若干	0	0	0	0					66	60		
	DX人材育成基盤プログラム					29	26						10	8		6	2	0.3	2	2	2	1.0	7	4	0.6	4	4	4	1.0	若干	0	0	0	0					45	40		
	物理学連携プログラム					11	9																							若干	0	0	0	0					11	9		
	電気エネルギー・電子工学プログラム					48	47						9	7		11	10	0.9	10	7	7	1.4	2	4	2.0	4	3	3	1.3	若干	2	2	1	0					68	64		
	機械工学プログラム					47	43						14	12		10	19	1.9	19	10	10	1.9	5	5	1.0	5	5	5	1.0	若干	1	1	1	0					77	70		
	知能機械システムプログラム					21	20						7	6		6	8	1.3	8	3	3	2.7	1	2	2.0	2	1	1	0.0	若干	0	0	0	0					32	30		
	生命・物質化学プログラム					39	30						9	9		12	22	1.8	22	14	14	1.6								若干	0	0	0	0					62	53		
	地域環境科学プログラム					20	20																2	2	1.0	2	2	2	1.0	若干	1	1	0	0					22	22		
	建築学プログラム					30	28						11	4		5	8	1.6	8	5	5	1.6	4	5	1.3	5	4	4	1.3	若干	0	0	0	0					50	41		
	理工学部　計	257	430	1.7	402	298	269	1.3	53	373	7.0	101	73	57	1.4	59	92	1.6	92	50	50	1.8	26	32	1.2	32	25	25	1.3	若干	4	4	2	0	395	931	2.4	631	448	401	1.4
福祉健康科学部	理学療法コース　※1	22	41	1.9	36	24	24	1.5	3	67	22.3	9	4	4	2.3								5	24	4.8	24	5	5	4.8						30	132	4.4	69	33	33	2.1
	社会福祉実践コース	19	43	2.3	42	23	23	1.8	4	42	10.5	15	4	4	3.8	12	45	3.8	45	13	13	3.5													35	130	3.7	102	40	40	2.6
	心理学コース	27	71	2.6	61	31	30	2.0															8	23	2.9	23	8	8	2.9						35	94	2.7	84	39	38	2.2
	福祉健康科学部　計	68	155	2.3	139	78	77	1.8	7	109	15.6	24	8	8	3.0	12	45	3.8	45	13	13	3.5	13	47	3.6	47	13	13	3.6						100	356	3.6	255	112	111	2.3
合　計		646	1,418	2.2	1,171	752	691	1.6	169	1,631	9.7	469	224	184	2.1	181	353	2.0	353	174	174	2.0	114	332	2.9	254	110	110	2.3	若干	9	9	6	1	1,110	3,743	3.4	2,256	1,266	1,160	1.8

※1　一般選抜第1段階選抜合格者は、医学部医学科前期日程195名、医学部先進医療科学科生命健康科学コース前期日程45名、医学部先進医療科学科生命健康科学コース後期日程53名、福祉健康科学部理学療法コース後期日程52名。

令和７年度（2025年度） 入学者出身高校所在地別状況（総括表）

区分	学部・学科等	九州									四国					中国						近畿							中部							北陸					関東								東北・北海道								その他	合計
		大分	福岡	佐賀	長崎	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄	小計	高知	愛媛	香川	徳島	小計	山口	広島	岡山	島根	鳥取	小計	和歌山	奈良	兵庫	大阪	京都	滋賀	小計	三重	愛知	静岡	岐阜	長野	山梨	小計	福井	石川	富山	新潟	小計	神奈川	東京	千葉	埼玉	群馬	栃木	茨城	小計	福島	山形	秋田	宮城	岩手	青森	北海道	小計		
教育学部	初等中等教育コース	87	14	1	6	12	2	1	1	124	0	3	1	0	4	0	3	1	0	0	4	0	0	2	1	0	0	3	0	4	0	1	1	0	6	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0		144
	特別支援教育コース	6	1	0	0	1	0	2	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10
	計	93	15	1	6	13	2	3	1	134	0	3	1	0	4	0	3	1	0	0	4	0	0	2	1	0	0	3	0	4	0	1	1	0	6	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0		154
経済学部	総合経済学科	136	30	13	11	6	25	4	2	227	1	14	4	1	20	14	3	5	1	3	26	1	0	4	0	0	1	6	0	4	0	2	1	0	7	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1		289
医学部	医学科	34	10	2	3	2	3	1	1	56	0	0	0	1	1	1	3	2	0	0	6	1	0	2	6	0	1	10	1	7	1	0	1	0	10	1	0	0	0	1	0	12	0	3	0	0	1	16	0	0	0	0	0	0	2	2	1	103
	看護学科	25	17	2	4	3	2	1	2	56	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		62
	先進医療科学科 生命健康科学コース	4	3	0	1	0	2	1	0	11	0	1	1	0	2	1	4	0	0	0	5	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		22
	先進医療科学科 臨床医工学コース	5	2	0	1	0	0	1	0	9	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	2		18
	計	68	32	4	9	5	7	4	3	132	0	3	1	1	5	3	8	3	0	0	14	1	0	5	6	0	1	13	2	7	3	0	1	0	13	1	0	0	0	1	2	13	0	5	1	0	1	22	0	0	0	0	0	0	4	4	1	205
理工学部	数理科学プログラム	8	0	2	0	0	1	0	0	11	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		12
	知能情報システムプログラム	28	14	1	2	1	3	2	2	53	0	1	0	2	3	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		60
	物理学連携プログラム	5	2	0	0	0	2	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		9
	電気エネルギー・電子工学プログラム	32	16	2	4	3	1	2	0	60	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		64
	機械工学プログラム	23	15	4	5	7	4	2	1	61	0	2	1	0	3	1	1	0	1	0	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1		70
	知能機械システムプログラム	11	8	2	3	3	1	1	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		30
	生命・物質化学プログラム	32	6	2	2	2	1	2	2	49	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		53
	地域環境科学プログラム	13	5	0	1	0	2	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		22
	建築学プログラム	9	9	2	6	2	1	2	0	31	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	3	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1		41
	DX人材育成基盤プログラム	16	6	0	4	6	4	0	0	36	0	1	0	1	2	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		40
	計	177	81	15	27	24	20	11	5	360	0	6	1	3	10	6	3	1	2	0	12	1	0	2	0	1	0	4	0	3	2	0	1	0	6	0	1	1	0	2	1	2	0	1	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	2	2		401
福祉健康科学部	理学療法コース	4	4	0	4	1	3	0	0	16	0	1	0	0	1	4	1	1	1	0	7	0	0	3	1	1	0	5	0	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		33
	社会福祉実践コース	16	0	1	6	3	3	3	0	32	0	3	0	0	3	2	1	0	0	0	3	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		40
	心理学コース	9	4	3	2	6	3	3	1	31	0	1	0	1	2	2	0	0	0	1	3	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		38
	計	29	8	4	12	10	9	6	1	79	0	5	0	1	6	8	2	1	1	1	13	2	0	3	3	1	0	9	0	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		111
総計		503	166	37	65	58	63	28	12	932	1	31	7	6	45	31	19	11	4	4	69	5	0	16	10	2	2	35	2	20	6	3	4	0	35	1	1	2	0	4	4	16	1	7	1	0	2	31	0	0	0	0	0	0	8	8	1	1,160

令和7年度（2025年度）一般選抜合格者の成績

【前期日程】

学　部	学科・コース	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育学部	初等中等教育コース	72	72	1250	929.40	585.80	749.54
	特別支援教育コース	3	3	1250			
経済学部	総合経済学科	120	151	1050	770.70	581.30	633.30
医 学 部	医学科（一般枠）	55	60	1050	888.50	783.50	817.33
	医学科（地元出身者枠）	10	10	1050			
	看護学科	35	43	700	528.00	427.67	454.89
	先進医療科学科生命健康科学コース	15	22	1400	968.67	832.33	879.98
	先進医療科学科臨床医工学コース	11	15	1400	948.00	806.00	855.36
理工学部	数理科学プログラム	13	15	1050	655.25	480.00	563.20
	知能情報システムプログラム	37	38	1050	818.50	510.75	593.74
	物理学連携プログラム	10	11	1050	693.50	492.50	546.14
	電気エネルギー・電子工学プログラム	43	48	1050	753.25	396.50	480.85
	機械工学プログラム	42	47	1050	783.25	425.00	523.12
	知能機械システムプログラム	16	21	1050	632.50	428.75	500.30
	生命・物質化学プログラム	35	39	1050	863.50	503.75	580.05
	地域環境科学プログラム	13	20	1050	683.25	497.75	572.86
	建築学プログラム	28	30	1050	662.50	541.75	596.51
	DX人材育成基盤プログラム	20	29	1050	649.25	468.00	520.14
福祉健康科学 部	理学療法コース	22	24	1330	910.50	755.50	828.95
	社会福祉実践コース	19	23	1330	952.90	846.00	886.87
	心理学コース	27	31	1330	1013.60	834.20	882.64

【後期日程】

学　部	学科・コース	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育学部	初等中等教育コース	23	37	1250	966.53	627.10	802.20
	特別支援教育コース	2	2	1250			
経済学部	総合経済学科	65	84	750	535.70	462.40	485.28
医 学 部	医学科	―	―	―			
	看護学科	10	10	600			
	先進医療科学科生命健康科学コース	5	5	1300			
	先進医療科学科臨床医工学コース	4	5	1300			
理工学部	数理科学プログラム	―	―	―			
	知能情報システムプログラム	9	13	1125	829.750	677.500	789.300
	物理学連携プログラム	―	―	―			
	電気エネルギー・電子工学プログラム	9	9	1125			
	機械工学プログラム	10	14	1125	857.875	586.500	771.910
	知能機械システムプログラム	5	7	1125			
	生命・物質化学プログラム	5	9	1125			
	地域環境科学プログラム	―	―	―			
	建築学プログラム	8	11	1125	866.750	800.125	829.160
	DX人材育成基盤プログラム	7	10	1125			
福祉健康科 学 部	理学療法コース	3	4	1330			
	社会福祉実践コース	4	4	1330			
	心理学コース	―	―	―			

※合格者が10名以内の場合、最高点、最低点及び平均点は非公表。
※経済学部及び理工学部前期日程の最高点、最低点及び平均点には、特色加点（配点20点）を含む。

募集要項（願書）・大学案内の請求方法

募集要項（願書）・大学案内の請求方法は、「１．インターネットで請求」、「２．大分大学に郵送で請求」、「３．大分大学学生支援部入試課の窓口で受領」の３つの方法がありますので、いずれかの方法で請求してください。

なお、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜、総合型選抜の学生募集要項は、紙媒体の冊子は作成していませんので、本学ホームページから電子ファイル(PDF 形式)をダウンロードして参照してください（公表予定時期は、以下のとおり）。

募集要項等	公表予定時期	出願受付方法	
		ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	紙
一般選抜学生募集要項	12 月上旬	◎	
学校推薦型選抜学生募集要項	９月下旬	◎	
総合型選抜学生募集要項（医学部医学科）	６月中旬	◎	
総合型選抜学生募集要項（教育学部、経済学部、理工学部、福祉健康科学部）	７月上旬	◎	
特別選抜学生募集要項（帰国生徒・社会人・私費外国人留学生） ※医学部看護学科社会人選抜を除く	12 月上旬		◎
医学部看護学科社会人選抜学生募集要項	６月下旬		◎
大学案内（受験者向けパンフレット）	６月中旬		

※医学部看護学科社会人選抜学生募集要項については、「１.インターネットで請求」での請求ができません。

１．インターネット（テレメール又はモバっちょ）で請求

下記のサービスを利用して、募集要項及び大学案内を請求することができます。下記 URL にアクセスするか、スマートフォン等で下記の二次元バーコードを読み取り、必要な資料を請求してください。なお、請求方法の詳細は、各サイトの指示に従ってください。

	パソコンから請求	スマートフォンから請求
テレメール	https://telemail.jp/shingaku/request	
	※テレメールでの資料請求に関するお問合せ先 テレメールカスタマーセンター　TEL　050-8601-0102（9:30～18:00）	
モバっちょ	https://djc-mb.jp/	
	※モバっちょでの資料請求に関するお問合せ先 TEL　050-3540-5005　（平日 10:00～18:00）	

２．大分大学に郵送で請求

募集要項を郵送する際に必要な郵便料金分（下記【郵便料金一覧】参照）の切手を貼り、申込者の郵便番号、住所、氏名を記入した角形２号の返信用封筒を、本学への往信用封筒に同封し、下記宛に郵送で請求してください。

往信用封筒の表には、「大学案内請求」、「医学部看護学科社会人選抜学生募集要項請求」等の請求する資料名を正確に朱書きするとともに、連絡のつく電話番号を同封してください。（電話番号は、資料名が不明確な場合や資料が配付開始前の場合の問合せに利用します。）

※往信用封筒の大きさは、返信用封筒が入ればどのような大きさでも構いません。

※郵送での請求の場合、原則として本学に返信用封筒が到着した翌日の発送となりますので、学生募集要項等を至急入手する必要がある場合は、テレメール又はモバっちょによる請求を利用してください。

請求先住所	〒870-1192　大分市大字旦野原 700 番地 大分大学学生支援部入試課　宛

【郵便料金一覧】

募集要項等	普通料金	速達料金
特別選抜学生募集要項（帰国生徒・社会人・私費外国人留学生選抜）	320 円	620 円
医学部看護学科社会人選抜学生募集要項		
大学案内（受験者向けパンフレット）		

※一般選抜、学校推薦型選抜及び総合型選抜の学生募集要項は、印刷した冊子体は作成していませんので、本学ホームページから電子ファイル(PDF 形式)をダウンロードしてください。
※郵便料金改定が行われた場合は新料金が適用されます。

３．大分大学学生支援部入試課の窓口で受領

学生支援部入試課の窓口で募集要項及び大学案内の配付を行っていますので、本学ホームページ又は電話で必要な資料が配付を開始しているか確認の上、お越しください。

（１）配付場所　大分大学学生支援部入試課（大分市大字旦野原 700 番地）
（２）配付時間　8:30～17:15（土日、祝日、年末年始、夏季一斉休業期間を除く）
（３）問合せ先　電話　097-554-7519

４．問合せ先

大分大学学生支援部入試課
電話　097-554-7519

インターネット出願について

一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜及び総合型選抜は、インターネットを利用した出願受付を行います。学生募集要項や出願に必要な書類は、大分大学ホームページで確認することができます。

・インターネット出願ガイダンスページ・インターネット出願登録ページ
http://www.guide.52school.com/guidance/net-oita-u/

・出願手続きの流れ

1
募集要項の確認

ホームページに掲載している募集要項（PDF）で出願に必要な情報を確認する。

2
出願登録

大分大学インターネット出願システムにて出願内容・志願者情報を登録する。

3
証明写真の登録

スマートフォンなどで撮影した証明写真（顔写真）を登録する。

4
入学検定料の支払い

クレジットカード、コンビニ等で期限までに入学検定料等を支払う。

5
必要書類の印刷・準備

出願確認票等を印刷し、その他必要な出願書類（調査票等）を準備する。

6
必要書類の郵送

市販の封筒に宛名ラベルを貼り、出願書類を速達書留で郵送する。

7
出願完了

出願書類に不備や不足等があった場合は、大分大学入試課から電話連絡をします。
また、受験票は、「受験番号確定メール」を受信した後に、インターネット申し込み確認画面から印刷することができます。試験当日は、印刷した受験票を試験会場に持参してください。

※一般選抜　前期日程の特色加点申請（経済学部、理工学部）は、インターネット出願システムと連動したJ-BridgeSystem（書類申請システム）から登録する必要があります。

入学者選抜試験に関する問合せ先

大分大学学生支援部入試課
〒８７０－１１９２
大分市大字旦野原（おおいたしおおあざだんのはる）７００番地
TEL　０９７－５５４－７４７１
FAX　０９７－５５４－７４７２
ホームページ　https://www.oita-u.ac.jp/